



Wnn6 上級ユーザーおよびシステム 管理者ガイド

Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No: 819-0604-10
2005 年 1 月

Copyright 2005 Sun Microsystems, Inc. 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

U.S. Government Rights Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本製品に含まれる HG-MinchoL, HG-MinchoL-Sun, HG-PMinchoL-Sun, HG-GothicB, HG-GothicB-Sun, および HG-PGothicB-Sun は、株式会社リコーがリコービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。HeiseiMin-W3H は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, docs.sun.com, AnswerBook, AnswerBook2 は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標、登録商標もしくは、サービスマークです。

サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

OPENLOOK, OpenBoot, JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社で共同開発されたソフトウェアです。

Wnn6 は、オムロン株式会社、オムロンソフトウェア株式会社で共同開発されたソフトウェアです。© Copyright OMRON Co., Ltd. 1995-2000. All Rights Reserved. © Copyright OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1995-2002 All Rights Reserved.

「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「ATOK Server/ATOK12」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK Server/ATOK12」にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

「ATOK Server/ATOK12」に含まれる郵便番号辞書 (7 桁/5 桁) は日本郵政公社が公開したデータを元に制作された物です (一部データの加工を行っています)。

「ATOK Server/ATOK12」に含まれるフェイスマーク辞書は、株式会社ビレッジセンターの許諾のもと、同社が発行する『インターネット・パソコン通信フェイスマークガイド』に添付のものを使用しています。

Unicode は、Unicode, Inc. の商標です。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されず、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。



040929@9495



目次

はじめに	7
1	かな漢字変換辞書 11
	辞書の構成 11
	品詞 16
	品詞の種類 16
	品詞管理ファイル 18
	頻度情報ファイル 19
	付属語情報ファイル 20
	テキスト形式辞書 21
	辞書ユーティリティ (コマンド行) 22
	テキスト形式辞書をバイナリデータ形式辞書へ変換する 22
	バイナリデータ形式辞書をテキスト形式辞書へ変換する 23
	辞書のヘッダー書き換え 23
2	かな漢字変換サーバー / 辞書引きサーバーの管理 25
	かな漢字変換サーバー 25
	辞書引きサーバー 26
	アクセス制御 27
	永続的なアクセス制御の設定 27
	一時的なアクセス制御の設定 28
	アクセス制御情報の取得 28
	かな漢字変換サーバーの基本設定 (jserverrc) 29
	起動時にあらかじめ辞書を読み込む 29
	かな漢字変換サーバーの停止 30
	かな漢字変換サーバーを停止する方法 (1) 30

	かな漢字変換サーバーを停止する方法 (2)	31
	かな漢字変換サーバーの起動	32
	かな漢字変換サーバーを起動する方法	32
3	オフライン学習の管理	33
	オフライン学習の概要	33
	オフライン学習の機能と動作	33
	かな漢字変換サーバー / 辞書引きサーバーのロック	33
	登録語自動反映	34
	学習処理	36
	保存ディレクトリの対応ファイル作成 (Entries)	37
	オフライン学習の設定	39
	offlinerc の設定	39
	udmergerc の設定	42
	cron の設定	44
4	使用許諾 (ライセンス) の管理	45
	使用許諾の制御の流れ	45
	ライセンスサーバーの起動	46
	ライセンスの交付状況の表示と回収	47
	使用許諾情報の管理に関するファイル	47
A	Wnn6 設定ユーティリティ	49
	Wnn6 設定ユーティリティの起動方法	49
	システム管理用	50
	システム管理	50
	システムデフォルト	56
	ユーザーカスタマイズ	65
	一般ユーザー向けカスタマイズ	65
	上級ユーザー向けカスタマイズ	67
B	補助漢字	71
	部首入力で補助漢字を使わないようにする	71
	単漢字変換で補助漢字の候補を出さないようにする	71

C	エラーメッセージ一覧	73
	日本語入力インタフェース (Wnn6/Http)	73
	ユーティリティ共通	75
	Wnn6 辞書ユーティリティ (wnndictutil)	79
	Wnn6 設定ユーティリティ (wnnenvutil)	81
	Wnn6 辞書変換ユーティリティ (wnnotow)	83
	オフライン学習ユーティリティ (wnnoffline)	84
	かな漢字変換サーバー (jserv)	86
	かな漢字変換サーバー ログレベル: LOG_WARNING	92
	かな漢字変換サーバー ログレベル: LOG_NOTICE	93
	かな漢字変換サーバー ログレベル: LOG_INFO	96
	かな漢字変換サーバー ログレベル: LOG_DEBUG	97
	かな漢字変換サーバー - 起動時	98
	辞書引きサーバー (wnnds)	98
	辞書引きサーバー ログレベル: LOG_WARNING	100
	辞書引きサーバー ログレベル: LOG_NOTICE	100
	辞書引きサーバー ログレベル: LOG_INFO	102
	辞書引きサーバー ログレベル: LOG_DEBUG	102
	ライセンスサーバー (dpkeyserv)	103
	ライセンスサーバー ログレベル: LOG_WARNING	104
	ライセンスサーバー ログレベル: LOG_NOTICE	104
	ライセンスサーバー ログレベル: LOG_INFO	106
	ライセンスサーバー ログレベル: LOG_DEBUG	107

索引 109

はじめに

このマニュアルでは、Solaris™オペレーティングシステムで使用できる日本語入力方式 Wnn6 の管理方法と、日本語入力インタフェースの詳しい設定方法について説明します。Wnn6 の概要とセットアップ方法については、『日本語入力方式の概要と移行』を参照してください。Wnn6 で日本語を入力する方法やかな漢字変換辞書に単語を登録する方法については、『Wnn6 ユーザーズガイド』を参照してください。また、Wnn6 の最新情報については、『Solaris 10 ご使用にあたって』を参照してください。

対象読者

このマニュアルは、日本語入力方式 Wnn6 の操作に関する一般的な知識を持つ上級ユーザーおよびシステム管理者を対象としています。

内容の紹介

第1章

かな漢字変換に使用する辞書について説明します。

第2章

かな漢字変換サーバーと辞書引きサーバーの設定方法について説明します。

第3章

オフライン学習の管理方法について説明します。

第 4 章

使用許諾 (ライセンス) の管理方法について説明します。

付録 A

Wnn6 設定ユーティリティで、Wnn6 の設定を行う方法について説明します。

付録 B

補助漢字を使用しないようにする設定方法について説明します。

付録 C

Wnn6 システムから通知されるエラーメッセージについて説明します。

関連マニュアル

- 『Solaris 10 ご使用にあたって』
- 『日本語入力方式の概要と移行』
- 『Wnn6 ユーザーズガイド』

Sun のオンラインマニュアル

docs.sun.com では、Sun が提供しているオンラインマニュアルを参照することができます。マニュアルのタイトルや特定の主題などをキーワードとして、検索を行うこともできます。URL は、<http://docs.sun.com> です。

表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

表 P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例を示します。	.login ファイルを編集します。 ls -a を使用してすべてのファイルを表示します。 system%
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して示します。	system% su password:
<i>AaBbCc123</i>	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、rm <i>filename</i> と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザーズガイド』を参照してください。
「 」	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	第 5 章「衝突の回避」を参照してください。 この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	sun% grep `^#define \ XV_VERSION_STRING`

コード例は次のように表示されます。

■ C シェル

```
machine_name% command y|n [filename]
```

■ C シェルのスーパーユーザー

```
machine_name# command y|n [filename]
```

■ Bourne シェルおよび Korn シェル

```
$ command y|n [filename]
```

■ Bourne シェルおよび Korn シェルのスーパーユーザー

```
# command y|n [filename]
```

[] は省略可能な項目を示します。上記の例は、*filename* は省略してもよいことを示しています。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: Shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。

第 1 章

かな漢字変換辞書

辞書の構成

Wnn6 のかな漢字変換では、「文節」という変換対象の単位を設定しています。この「文節」は、「自立語」と「付属語」で構成されています。Wnn6 の辞書は、「自立語」向け辞書、「付属語」向け辞書、および、FI 関係辞書に分類されます。「自立語」向けの辞書には、主に、単語の読み、変換結果の文字列、品詞情報が収められています。「付属語」向けの辞書には、付属語の種類、自立語との接続情報、付属語間での接続情報が収められています。

自立語向けの辞書は、システム全体で共有するシステム辞書と、特定のユーザーが専有するユーザー辞書に分類されます。システム辞書に対しては、単語の登録や削除といった編集作業を行うことはできません。ユーザー辞書に対しては、その辞書を専有するユーザーは、自由に単語の登録や削除といった編集作業を行うことができます。

Wnn6 のかな漢字変換サーバーは、バイナリデータ形式の辞書を扱います。バイナリデータ形式のユーザー辞書は、テキスト形式の辞書に変換することができます。バイナリデータ形式のシステム辞書は、テキスト形式の辞書に変換することはできません。テキスト形式の辞書は、バイナリデータ形式の辞書に変換することができます。

ユーザーのかな漢字変換操作に関する使用頻度情報は、学習情報として保持されません。システム辞書に対する使用頻度情報は、辞書毎に指定できる、独立した「頻度ファイル」に保存されます。ユーザー辞書に対する使用頻度情報は、対象ユーザー辞書内、または独立した「頻度ファイル」に保存されます。

図 1-1 に、辞書の構成を示します。

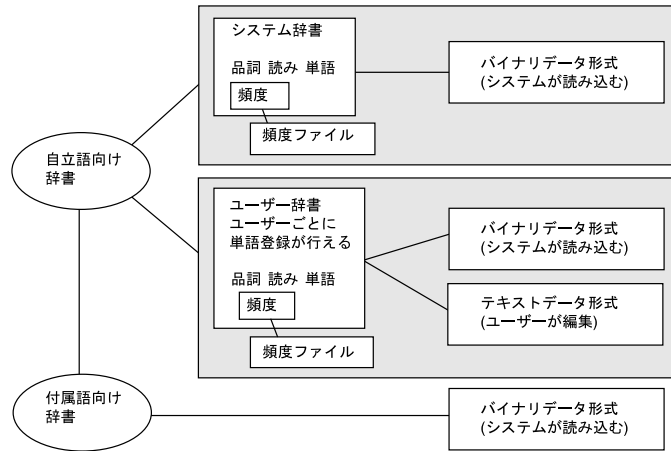


図 1-1 辞書構成図

図 1-2 に、Wnn6 の辞書ファイルの構成を示します。

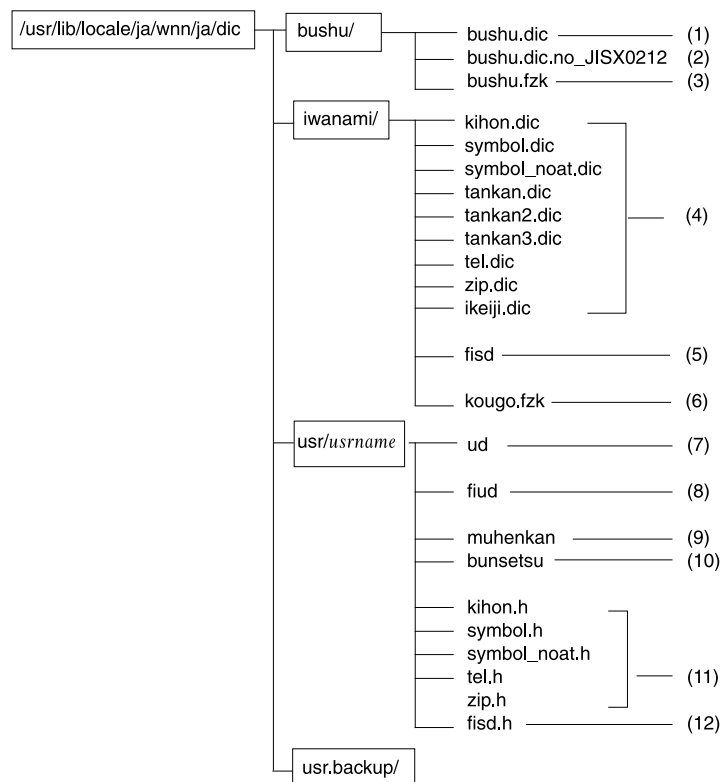


図 1-2 Wnn6 の辞書ファイル構成

1. 部首入力用辞書ファイル

表 1-1 に、部首入力用辞書ファイルの内容を示します。

表 1-1 部首入力用辞書ファイル一覧

ファイル名	内容
bushu.dic	補助漢字を含んだ部首情報の辞書

2. 部首入力用辞書ファイル (補助漢字を使用しない)

表 1-2 に、部首入力用辞書ファイル (補助漢字を使用しない) の内容を示します。

表 1-2 部首入力用辞書ファイル (補助漢字なし) 一覧

ファイル名	内容
bushu.dic.no_JISX0212	補助漢字を含まない部首情報の辞書

3. 部首入力用付属語情報ファイル

表 1-3 に、部首入力用付属語情報ファイルの内容を示します。

表 1-3 部首入力用付属語情報ファイル一覧

ファイル名	内容
bushu.fzk	部首入力用

4. システム辞書ファイル

表 1-4 に、システム辞書ファイルの内容を示します。

表 1-4 システム辞書ファイル一覧

ファイル名	内容
kihon.dic	基本辞書
symbol.dic	記号辞書
symbol_noat.dic	記号辞書 (@ 入力なし)
tankan.dic	単漢字辞書 (JIS X 0208 第 1 水準)
tankan2.dic	単漢字辞書 (JIS X 0208 第 2 水準)
tankan3.dic	単漢字辞書 (JIS X 0212 補助漢字)
tel.dic	電話番号辞書 (市外局番を住所に変換する)
zip.dic	郵便番号辞書 (郵便番号を住所に変換する)
ikeiji.dic	異形字辞書 (新字体 \leftrightarrow 旧字体、略字体 \leftrightarrow 正字体)

5. FI 関係システム辞書ファイル

表 1-5 に、FI 関係システム辞書ファイルの内容を示します

表 1-5 FI 関係システム辞書ファイル一覧

ファイル名	内容
fisd	FI 関係基本辞書

6. 付属語情報ファイル

表 1-6 に、付属語情報ファイルの内容を示します。

表 1-6 付属語情報ファイル一覧

ファイル名	内容
kougo.fzk	文語 & 口語用

7. ユーザー辞書ファイル

表 1-7 に、ユーザー辞書ファイルの内容を示します。

表 1-7 ユーザー辞書ファイル一覧

ファイル名	内容
ud	ユーザー辞書

8. FI 関係ユーザー辞書ファイル

表 1-8 に、FI 関係ユーザー辞書ファイルの内容を示します。

表 1-8 FI 関係ユーザー辞書ファイル一覧

ファイル名	内容
fiud	FI 関係ユーザー辞書

9. 無変換学習辞書ファイル

表 1-9 に、無変換学習辞書ファイルの内容を示します。

表 1-9 無変換学習辞書ファイル一覧

ファイル名	内容
muhankan	無変換学習用

10. 文節学習辞書ファイル

表 1-10 に、文節学習辞書ファイルの内容を示します。

表 1-10 文節学習辞書ファイル一覧

ファイル名	内容
bunsetsu	文節切り学習用

11. ユーザー頻度情報ファイル

表 1-11 に、ユーザー頻度情報ファイルの内容を示します。

表 1-11 ユーザー頻度情報ファイル一覧

ファイル名	内容
kihon.h	基本辞書内の単語に対するユーザー頻度情報
symbol.h	記号辞書内の単語に対するユーザー頻度情報
symbol_noat.h	記号辞書 (@ 入力なし) 内の単語に対するユーザー頻度情報
tel.h	電話番号辞書内の単語に対するユーザー頻度情報
zip.h	郵便番号辞書内の単語に対するユーザー頻度情報

12. FI 関係ユーザー頻度情報ファイル

表 1-12 に、FI 関係ユーザー頻度情報ファイルの内容を示します。

表 1-12 FI 関係ユーザー頻度情報ファイル一覧

ファイル名	内容
fisd.h	FI 関係基本辞書内の単語に対するユーザー頻度情報

品詞

品詞の種類

単語登録を行うときは、品詞を指定します。表 1-13 に、指定できる品詞を示します。

表 1-13 単語登録時に指定できる品詞の一覧

大項目	種類
普通名詞	名詞 / サ行 (する) & 名詞 / 一段 & 名詞 / ら抜き一段 & 名詞 / 形容動詞 & 名詞 / 数詞 / 数詞 & 名詞 / ザ行 (ずる) & 名詞 / 形動 & する & 名詞 / 形容動詞 (たる) & 名詞 / 副詞 & 名詞 / 副詞 & する & 名詞 / 助数詞 & 名詞 / 助数詞 & する & 名詞 / 接頭助数詞 & 名詞 / 名詞 (御なし)
固有名詞	人名 / 地名 / 人名 & 地名 / 固有名詞 / 姓 / 名 / 企業 / 姓 & 地名 / 名 & 地名 / 地名 & 人名

表 1-13 単語登録時に指定できる品詞の一覧 (続き)

大項目	種類
動詞	一段 / 一段 & 名詞 / ら抜き一段 / ら抜き一段 & 名詞 / カ行五段 / ガ行五段 / サ行五段 / タ行五段 / ナ行五段 / ハ行五段 / バ行五段 / マ行五段 / ラ行五段 / ワ行五段 / サ行(する) / サ行(する) & 名詞 / ザ行(ずる) / ザ行(ずる) & 名詞 / 形動 & する & 名詞 / 副詞 & する / 副詞 & と & する / 副詞 & する & 名詞 / 助数詞 & する & 名詞
特殊な動詞	カ行(行く) / ラ行(下さい) / 来(こ) / 来(き) / 来(く) / 為(し) / 為(す) / 為(せ)
動詞以外の用言	形容詞 / 形容動詞 / 形容動詞 & 名詞 / 形容動詞(たる) / 形容詞(いい) / 形容詞連用形う / 形動 & する & 名詞 / 形容動詞 & 副詞 / 形容動詞(たる) & 名詞 / 形容動詞(たる) & 副詞
その他の独立語	副詞 / 連体詞 / 接続詞 / 感動詞 / 形容動詞(たる) & 副詞 / 副詞 & 名詞 / 副詞 & する / 副詞 & と & する / 副詞 & する & 名詞
接頭語 / 接尾語	接頭語 / 接尾語 / 接尾人名 / 接尾地名 / 接尾地名 / 接頭数詞 / 助数詞 / 接頭助数詞 / 接尾助数詞 / 形容動詞化接尾語 / サ行(する) & 名詞化接尾語 / 接尾動詞 / 形容動詞化接尾動詞 / 接頭語(お) / 接頭語(各) / 接頭人名 / 助数詞 & 名詞 / 助数詞 & する & 名詞 / 助数詞 & 接尾助数詞 / 接頭助数詞 & 名詞 / 接尾姓 / 接尾名 / 動作接尾語
単漢字	単漢字
疑似品詞	数字 / カナ / 英数 / 記号 / 閉括弧 / 開括弧 / 付属語
その他の特殊品詞	特殊助数詞 / 特殊数詞 / 数助数詞 / 特殊接頭数詞 / 特殊単独語 / 郵便番号 / 電話番号 / 連濁 / 異形字
特殊助数詞	助数詞(音読) / 助数詞(音読) & する & 名詞 / 助数詞(音読) & 接尾助数詞 / 助数詞(音読) & 名詞 / 助数詞(共通) / 助数詞(共通) & 名詞 / 助数詞(数字) / 助数詞(数字) & する & 名詞 / 助数詞(数字) & する & 名詞(御なし) / 助数詞(数字) & 名詞助数詞(数字) & 名詞(御なし)
特殊数詞	数詞(一) / 数詞(訓読) / 数詞 A / 数詞 A & 名詞 / 数詞 A(一般) / 数詞 A(証書) / 数詞 B / 数詞 B & 名詞 / 数詞 B(一般) / 数詞 B(一般) & 名詞 / 数詞 B(証書) / 数詞 B(証書) & 名詞 / 数詞 C / 数詞 C & 名詞 / 数詞 C(一般) / 数詞 C(証書)
数助数詞	数助数詞 A(一般) / 数助数詞 B / 数助数詞 C / 数助数詞 C & 助数詞(数字) & 名詞 / 数助数詞 C & 助数詞(数字) & 名詞(御なし)
特殊接頭数詞	接頭数詞 A / 接頭数詞 A(数字) / 接頭数詞 B / 接頭数詞 B(一般) / 接頭数詞 B(証書)
特殊単独語	単独語 / 単独接頭語 / 単独接尾語

品詞管理ファイル

品詞に関する情報を管理します。

ファイル:

```
/usr/lib/locale/ja/wnn/ja/hinsi.data
```

このファイルに定義されている順番で、品詞や複合品詞に番号が割り当てられます。

この番号は、次の場合に使用されます。

- 辞書、品詞ファイルの作成時
- サーバー、クライアントでの品詞名参照時
- 複合品詞の構成 (複合品詞は品詞の集合) 参照時
品詞管理ファイルに対しては以下の編集を行うことができます。
 - 新しい品詞および複合品詞を最後に追加する
 - 「@」のみで構成される行を、品詞の定義に置き換える

注 - 品詞に関する情報はすべての辞書と付属語ファイルの間で共通なので、品詞の削除やファイル内での並べ替えはできません。削除や並べ替えを行うと、変更前の品詞管理ファイルを使用して作成された辞書と付属語の品詞情報 (番号) が正しくなくなります。

書式は次のとおりです。

```
複合品詞 / 品詞 : 品詞: ... :品詞
```

複合品詞の定義に使用する品詞は、前もって品詞として定義されていなければなりません。また、品詞名と複合品詞名を重複して使用することはできません。

「@」だけの行は領域を確保することを意味します。品詞の定義に置き換えることもできます。

「;」以降はコメントです。

以下に例を示します。

```

;;;
;;;   品詞は、階層的に分類されています。
;;;   ルートのノードは、「/」という名前を持っています。
;;;   リーフが本当の品詞になっています。
;;;   ノードは、
;;;   ノード名|品詞1:品詞2:...
;;;   と書かれます。
...
...
/|普通名詞/:固有名詞/:動詞/:特殊な動詞/:動詞以外の用言\
:その他の独立語/:接頭語,接尾語/:単漢字:疑似品詞/その他の特殊品詞\
/普通名詞/

普通名詞/|名詞:サ行(する)&名詞:一段&名詞:形容動詞&名詞:数詞 ...
固有名詞/|人名:地名:人名&地名:固有名詞 ...

動詞/|一段      :一段&名詞\
      :カ行五段:ガ行五段:サ行五段:タ行五段:ナ行五段
...
;
; 疑似品詞
;
先頭      ;文節先頭
数字      ;0123...
カナ      ;カタカナ
英数      ;ABCD...
記号      ;!"#$%...
閉括弧    ;)} など
付属語    ;付属語
開括弧    ;([{ など
疑似      ;その他の疑似文節
@
;   ここまでの 10 個の品詞の語は、辞書に存在しなくても jserver が
;   理解しています。
...

```

頻度情報ファイル

使用頻度情報は、辞書内と、辞書を使用する時に指定できる頻度情報ファイルに保存されます。

頻度情報ファイル:

```
/var/locale/ja/wnn/ja/dic/usr/username/*.h
```

username は、Wnn6 の利用者のユーザー名です。

頻度情報ファイルは、ユーザー頻度情報ファイルと FI 関係ユーザー頻度情報ファイルに分類されます。ユーザー頻度情報ファイルには、対応する自立語向け辞書に登録された単語の使用頻度が保存されます。FI 関係ユーザー頻度情報ファイルには、対応する FI 関係辞書に登録された関係情報の使用頻度が保存されます。

システム辞書、ユーザー辞書のいずれも、辞書内に頻度情報を保持します。頻度情報の値は、辞書に単語が登録される時に設定されます。システム辞書は読み込み専用のため、システム辞書内の頻度情報を更新することはできません。ユーザー辞書内の頻度情報は更新可能です。

頻度情報ファイルは、辞書を使用する際に指定することができます。辞書の使用時に頻度情報ファイルが指定されない場合、辞書内の頻度情報が使用されます。

自立語向け辞書に登録された単語の使用頻度の値は、Wnn6 辞書ユーティリティなどを使用して、動的に変更することができます。また、特定の単語を一時的にかな漢字変換に使用しないように設定することもできます。

注 - テキスト形式辞書では、一時的に削除されたエントリの頻度を「-」で表します。

付属語情報ファイル

付属語情報ファイルには、付属語の種類、自立語と付属語の接続方法、付属語同士の接続方法が収められています。付属語情報ファイルは、*jservice* の起動時に読み込まれます。

ファイル:

```
/usr/lib/locale/ja/wnn/ja/dic/iwanami/kougo.fzk
```

テキスト形式辞書

テキスト形式辞書は日本語 EUC で記述され、テキストエディタで編集することができます。テキスト形式辞書は、バイナリデータ形式辞書と相互変換できます。

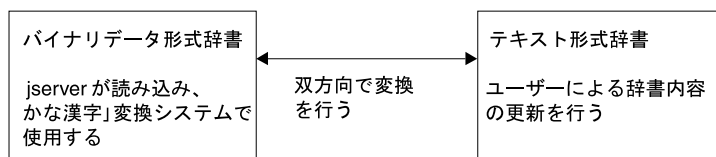


図 1-3 辞書構成

テキスト形式の辞書ファイル名の接尾辞は「.u」、バイナリデータ形式の辞書ファイル名の接尾辞は「.dic」です。

テキスト形式辞書は次の書式で作成します。

読み	単語	品詞	頻度	コメント	← 個々の単語について記述します。
読み	単語	品詞	頻度	コメント	
読み	単語	品詞	頻度	コメント	
読み	単語	品詞	頻度	コメント	
読み	単語	品詞	頻度	コメント	
.	
.	
.	

「読み」、「単語」、「品詞」、「頻度」、「コメント」は空白文字またはタブ文字で区切ります。

表 1-14 テキスト形式辞書の書式

No	項目	
1	読み	<p>単語の読み。</p> <p>指定できる文字数は 124* 文字まで。ユーザー辞書はひらがな、「ー」、半角英数字で、システム辞書はひらがな、「ー」で逆順に表現する。</p> <p>半角英数字の大文字と小文字は区別しない。ソート時の文字の昇順は「ー」、ひらがな、半角英数字の順になる¹</p>

表 1-14 テキスト形式辞書の書式 (続き)

No	項目	
2	単語	指定できる文字数は 124* 文字まで。半角文字、全角文字、ユーザー定義文字など、すべての文字表現が可能。 スペース、改行などの制御文字は「0」に続く 2 桁の 8 進数で表す。 「\」に「0」以外の文字を続けると、その文字を指す(「\\」は文字「\」を指す)
3	品詞	品詞名を入力する
4	頻度	各単語ごとの頻度値
5	コメント	各単語ごとに付けられるコメント。指定できる文字数は 124* 文字まで
		注:* 「読み」「単語」「コメント」は、合計で 124 文字まで

ユーザーが新規にユーザー辞書ファイルを作成した場合は、その辞書を Wnn6 が参照するように環境設定ファイル wnnenvrc に記述する必要があります。

"address.dic" を新しく作成した場合、wnnenvrc には次のように記述します。

```
setdic usr/@USR/address.dic - 5 0 0 - - 0
:
```

(※ 上記で、usr/@USR/address.dic は、新規に追加する辞書ファイルのパス名です。続いて頻度情報ファイルのパス名を指定しますが、この例のように - を指定すると、辞書ファイル内の頻度値を参照します。)

辞書ユーティリティ (コマンド行)

テキスト形式辞書をバイナリデータ形式辞書へ変換する

以下に例を示します。

```
sun% wnnatod /usr/lib/locale/ja/wnn/ja/dic/user/userA.dic < userA.u
```

この例では、カレントディレクトリの下での userA.u というテキスト形式辞書を userA.dic というバイナリデータ形式辞書に変換します。

バイナリデータ形式辞書をテキスト形式辞書へ変換する

以下に例を示します。

```
sun% wnn2toa /usr/lib/locale/ja/wnn/ja/dic/usr/userB.dic > userB.u
```

この例では、`/usr/lib/locale/ja/wnn/ja/dic/usr/userB.dic` というバイナリデータ形式辞書をカレントディレクトリの下での `userB.u` というテキスト形式辞書に変換します。

辞書のヘッダー書き換え

バイナリデータ形式辞書と付属語情報のヘッダー部分を書き換えて、辞書の `inode` と合わせます。

実行形式は次のとおりです。

```
sun% /usr/bin/wnntouch <バイナリデータ>...
```

表 1-15 バイナリデータの種類と保存形式

バイナリデータ	バイナリデータ形式辞書 (*.dic)、付属語情報 (*.fzk)
---------	-----------------------------------

バイナリデータ形式辞書や付属語情報ファイルは、複数指定することができます。

第 2 章

かな漢字変換サーバー / 辞書引きサーバーの管理

かな漢字変換サーバー

かな漢字変換サーバー jserver は、複数のユーザーによるかな漢字変換機能を可能にします。

図 2-1 に、かな漢字変換サーバーの構成を示します。

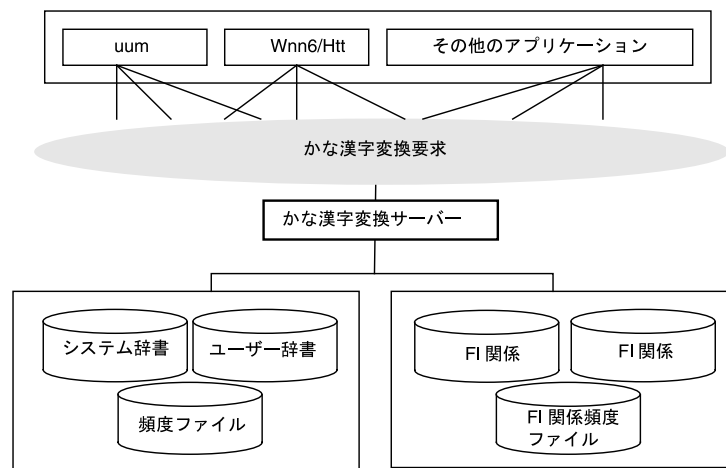


図 2-1 かな漢字変換サーバー

jserver は、システムの起動時に /etc/rc2.d/S94Wnn6 によって起動します。

辞書引きサーバー

辞書引きサーバーは、かな漢字変換における辞書引き処理を行います。

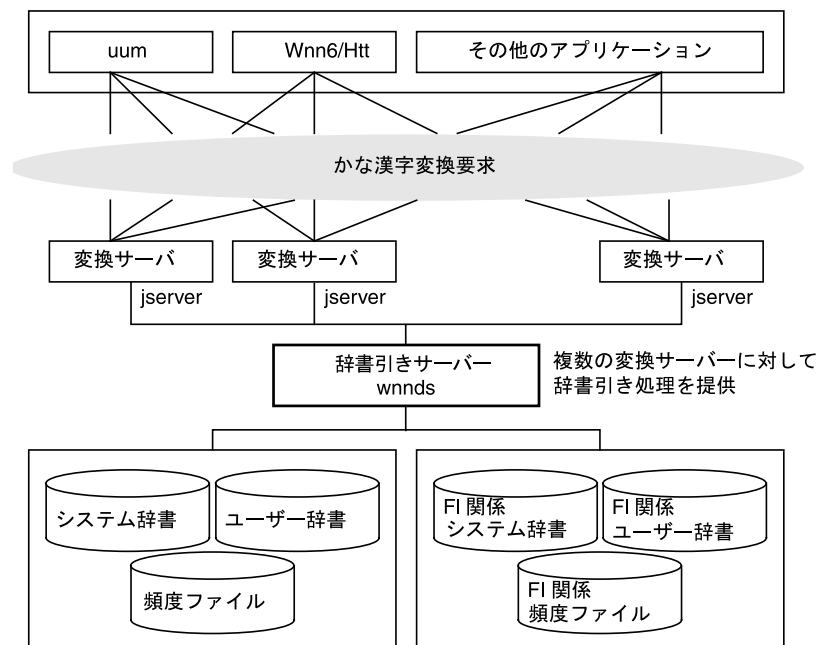


図 2-2 辞書引きサーバー

辞書引きサーバー wnnds は、辞書ファイルと全ユーザーの頻度ファイルを一括管理し、複数の変換サーバーから問い合わせのあった文字列の辞書引き結果をそれぞれの変換サーバーへ返します。

wnnds は、標準の設定では起動しません。必要に応じて `/etc/rc2.d/S94Wnn6` を編集するか、`/etc/lib/locale/ja/wnn/ja/jserverrc` を編集し、`jserver` が同一システム上の `wnnds` に接続するように設定してください。なお、`jserverrc` は `Wnn6` 設定ユーティリティ `wnnenvutil` の「かな漢字変換サーバ基本設定」で編集できます。

アクセス制御

かな漢字変換サーバー (jserver) を使用できるユーザーと、辞書引きサーバー (wnnds) に接続できるかな漢字変換サーバーを指定できます。初期設定では、かな漢字変換サーバーを使用できるのは同一ホスト上のユーザーです。また、辞書引きサーバーに接続できるのは同一ホスト上のかな漢字変換サーバーです。

永続的なアクセス制御の設定

かな漢字変換サーバー jserver と辞書引きサーバー wnnds に対するアクセス制御は、`/etc/lib/locale/ja/wnn/wnnhosts` ファイルで設定します。このファイルは、`wnnenvutil(1)` やテキストエディタなどで設定できます。

次に、アクセス許可ファイルの記述例を示します。

```
jserver ja hostA {
;hostC:usr1,usr2,usr3
hostA:usr1,usr4
hostB
hostC:usr5
@usrA
;@usrB
}

wnnds ja hostA {
hostA
hostD
}

jserver ja hostA/22273 {
hostB
hostE
@usrA
}

wnnds ja hostA/22385 {
hostA
hostD
}
```

一時的なアクセス制御の設定

wnnaccess コマンドを使用して、かな漢字変換サーバー jserver と辞書引きサーバー wnnnds に対する一時的なアクセス制御を設定できます。システムをリブートしたり、かな漢字変換サーバーや辞書引きサーバーを再起動したりすると、この設定は失われます。

- アクセス不可能にする場合：

以下の操作は、スーパーユーザーで行なってください。

```
sun# /usr/sbin/wnnaccess - hostA:usr1,usr2,usr3,usr4
```

この場合、hostA からアクセス可能であった *usr1*、*usr2*、*usr3*、*usr4* はアクセスできなくなります。

- アクセス可能にする場合：

以下の操作は、スーパーユーザーで行なってください。

```
sun# /usr/sbin/wnnaccess + @usr5
```

この場合、すべてのホストのユーザー *usr5* からアクセスできるようになります。

アクセス制御情報の取得

wnnaccess コマンドを使用して、かな漢字変換サーバー jserver と辞書引きサーバー wnnnds のアクセス許可情報を取得できます。

- 現在のアクセス許可状態を表示する場合：

以下の操作は、スーパーユーザーで行なってください。

```
sun# /usr/sbin/wnnaccess
Server access control enabled,
only users on authorized hosts can connect.
hostname
hostname:
hostname: username1, username2, ...
@username
```

先頭行は、アクセス制御の状態 (オンまたはオフ) を示します。次行以下は、アクセス許可が与えられているホストとユーザー名を示します。表 2-1 に、出力形式と意味を示します。

表 2-1 アクセス制御情報

名称	内容
<i>hostname</i>	ホスト <i>hostname</i> のすべてのユーザーからアクセス可能
<i>hostname:</i>	ホスト <i>hostname</i> のすべてのユーザーからアクセス不可能
<i>hostname:</i> <i>username1,</i> <i>username2, ...</i>	ホスト <i>hostname</i> のユーザー <i>username1</i> 、 <i>username2</i> ...からアクセス可能
<i>@username</i>	ユーザー <i>username</i> は、すべてのホストからアクセス可能

かな漢字変換サーバーの基本設定 (jserverrc)

かな漢字変換サーバー `jserver` が起動時に読み込む辞書や、かな漢字変換のパラメタなどを設定します。

起動時にあらかじめ辞書を読み込む

かな漢字変換サーバー `jserver` の起動時に、あらかじめ辞書を読み込んでおくことができます。

標準の設定では、かな漢字変換サーバーが起動したとき、かな漢字変換用のシステム辞書は読み込まれません。必要な辞書は、日本語入力を行うクライアントプログラムが起動した時点で読み込まれます。この読み込みは、通常ログイン時に行われるため、`Wnn6` を使用するユーザーのログインには多少時間がかかることになります。

- 次の例のように、`/etc/lib/locale/ja/wnn/ja/jserverrc` を編集し、`readfile` の行の先頭の「;」の文字を削除します。


```
sun# wnnstat
```

かな漢字変換サーバーを使用しているユーザーが表示されます。かな漢字変換サーバーを停止することをユーザーにメールで知らせることもできます。

3. **Wnn6 stop** コマンドを入力します。

```
sun# sh /etc/init.d/Wnn6 stop
```

かな漢字変換サーバーを使用しているユーザーがいても、サーバープロセスは停止します。

かな漢字変換サーバーを停止する方法 (2)

かな漢字変換サーバーだけを停止するには、次のようにします。

1. スーパーユーザーになります。
2. かな漢字変換サーバーを使用しているユーザーがいるかどうかを調べます。

```
sun# wnnstat
```

かな漢字変換サーバーを使用しているユーザーが表示されます。かな漢字変換サーバーを停止することをユーザーにメールで知らせることもできます。

3. **wnnkill** コマンドを入力します。

```
sun# wnnkill
```

かな漢字変換サーバーを使用しているユーザーがいても、かな漢字変換サーバーは停止します。辞書引きサーバーとライセンスサーバーは停止しません。

かな漢字変換サーバーの起動

かな漢字変換サーバーやライセンスサーバーは、システムの起動時に `/etc/rc2.d/S94Wnn6` によって起動します。辞書引きサーバーを使用するように設定している場合は、辞書引きサーバーも同時に起動します。

かな漢字変換サーバーを起動する方法

かな漢字変換サーバー、辞書引きサーバー (使用する場合)、ライセンスサーバーを起動するには、次のようにします。

1. スーパーユーザーになります。
2. `Wnn6 start` コマンドを入力します。

```
sun# sh /etc/init.d/Wnn6 start
```

すでに起動しているサーバーが二重に起動することはありません。

第3章

オフライン学習の管理

オフライン学習の概要

オフライン学習機能を利用して、次の処理を行えます。

- ユーザー辞書、頻度ファイル、FI 関係ユーザー辞書、FI 関係頻度ファイルに対する変換効率向上のための頻度の再配置
- ディスク、メモリー資源の削減 (不要な単語の削除)
- 登録語自動反映

オフライン学習の機能と動作

かな漢字変換サーバー / 辞書引きサーバーのロック

オフライン学習の対象となる辞書、頻度ファイルを読み込む可能性のあるかな漢字変換サーバーと辞書引きサーバーをロックします。

ロックすると、かな漢字変換サーバーと辞書引きサーバーの機能は以下のように制御されます。

- ロックすると使用できなくなる機能:
 - 頻度学習
 - FI 学習

- 自動学習 (無変換 / 文節切り)
 - 単語登録 / 単語削除
 - 辞書 / 頻度ファイルの読み込み
 - ユーザー辞書 / ユーザー頻度ファイルの削除
 - ユーザー学習用ディレクトリ作成
 - 辞書ファイル / 頻度ファイルの作成
 - コメントの設定 (ファイル / 単語)
 - ファイルのパスワード設定
 - 辞書への品詞テーブル設定
- ロックしても使用できる機能:
 - 変換処理
 - 単語検索
 - クライアントの終了処理

オフライン学習の終了時には、かな漢字変換サーバーと辞書引きサーバーに対する上記の制御を解除します。

登録語自動反映

登録語自動反映モジュールを起動し、すべてのユーザー辞書を調査して、複数のユーザーで登録されている単語をマージ辞書に登録します。

マージ辞書に登録された単語は、ユーザー辞書から削除されます。この削除によって FI 関係ユーザー辞書が影響を受ける場合は、FI 関係ユーザー辞書も更新されます。

注 - 登録語自動反映モジュールは、必ずオフライン学習機能から (自動的に) 起動してください。単独では起動しないでください。

注 - 登録語自動反映モジュールは、ユーザー辞書に直接アクセスします。登録語自動反映の機能を使用する場合は、オフライン学習の処理全体をユーザー辞書の存在するシステム上で行なってください。

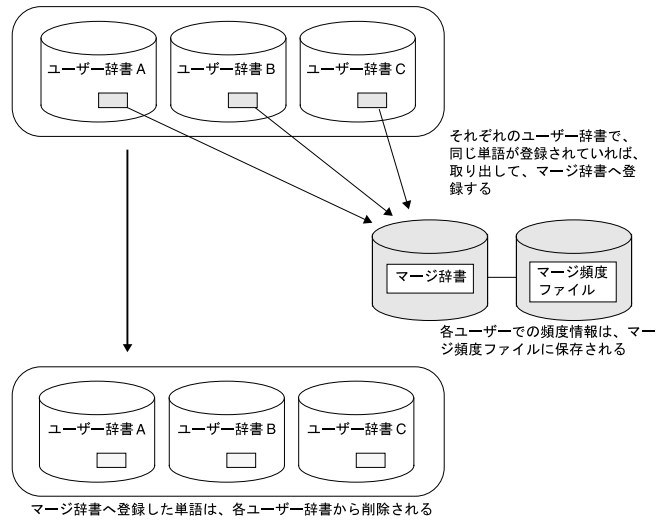
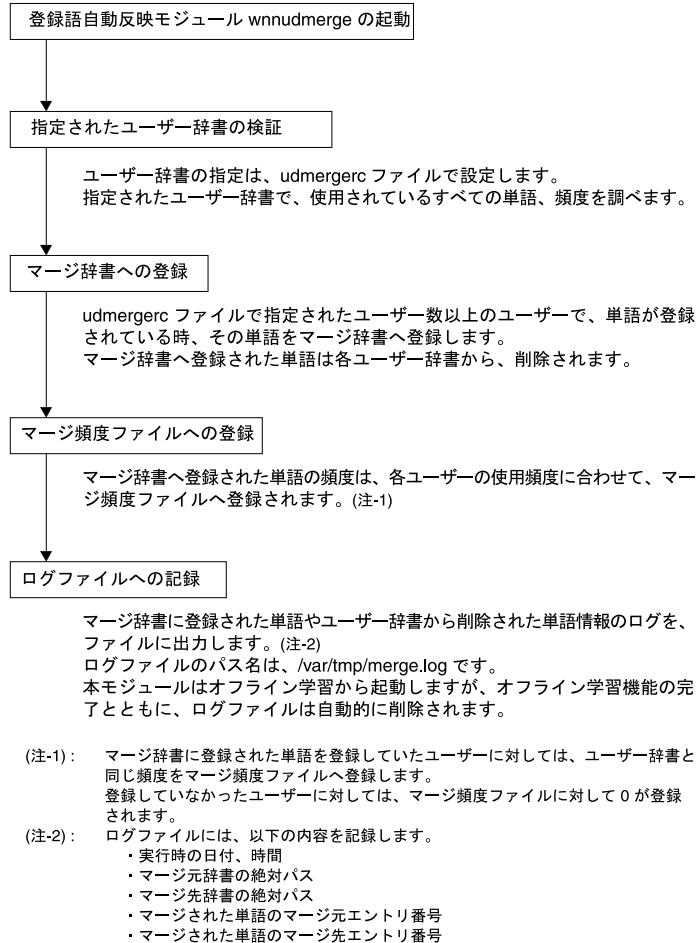


図 3-1 登録語自動反映機能のイメージ

機能説明

登録語自動反映機能について、その処理の流れに沿って解説します。



学習処理

オフライン学習では、ユーザー辞書、頻度ファイル、FI 関係ユーザー辞書、FI 関係頻度ファイルに対して、変換効率の向上、頻度の飽和防止、ディスクやメモリー容量の削減のための学習処理を行います。

頻度下げ

同一単語の過去 2 回の頻度をもとに、表 3-1 に示すパターンに従って頻度を下げます。

表 3-1 頻度下げパターン

パターン	処理
前々回、前回、今回の頻度がすべて同じ 前々回--->前回--->今回	頻度を下げる
前回の処理で頻度下げが発生 前々回--->↓ 前回--->↓ 今回	頻度を下げる
上記以外のすべてのパターン	頻度はそのまま

単語削除

頻度が 0 になった単語を辞書から削除します。

辞書の種類によって対応が異なります。

- ユーザー辞書、頻度ファイル
同一単語の前々回→前回→今回 (現在から 2 回前まで) の頻度がすべて 0 の場合に単語を削除します。
- FI 関係ユーザー辞書、FI 関係頻度ファイル
接続頻度が 0 の場合に、単語に対する FI 関係データを削除します。

保存ディレクトリの対応ファイル作成 (Entries)

Entries ファイルは、オフライン学習の環境とその保存ディレクトリの対応関係を定義します。このファイルは、システムから自動的に出力されます。

ファイル:

```
/usr/lib/locale/ja/wnn/offline/Entries
```

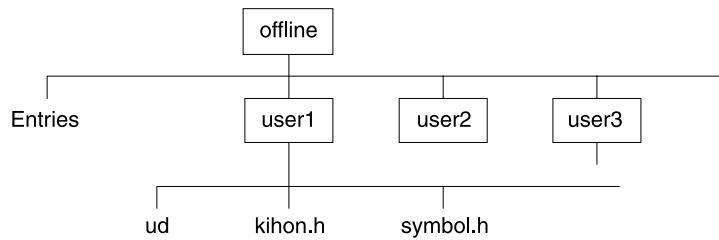


図 3-2 オフライン学習の環境を保存するためのディレクトリ構成

Entries ファイルは次のような書式で出力されます。

```
target_directory save_directory
target_directory save_directory
.
```

表 3-2 Entries ファイル出力書式の内容

<i>target_directory</i>	対象となる環境のディレクトリ名を絶対パス名で出力
<i>save_directory</i>	保存ファイルのあるディレクトリ名を出力 上図の offline ディレクトリからの相対パス名で出力

次に、Entries ファイルの出力例を示します。

```
/usr/lib/locale/ja/wnn/ja/dic/usr/user1 user1
/usr/lib/locale/ja/wnn/ja/dic/usr/user2 user2
```

通常、*save_directory* は *target_directory* のベース名と同じになります。

すでに *save_directory* 名が存在する場合は、「_」に続いてシリアルナンバーが付加されます。

以下に、*save_directory* にシリアルナンバーが付加された場合の出力例を示します。

```
/usr/lib/locale/ja/wnn/ja/dic/usr/userA userA
/home/userA userA_1
/opt/Wnn6/userA userA_2
```

オフライン学習の設定

システム管理者は、オフライン学習の前に、あらかじめ `offlinerc` ファイル、`udmergerc` ファイル、`cron` の設定をすませしておく必要があります。

offlinerc の設定

`offlinerc` は、オフライン学習の動作を規定するテキストファイルです。

オフライン学習を起動するときは、必ず `offlinerc` ファイルを設定しておきます。

ファイル:

```
/etc/lib/locale/ja/wnn/offlinerc
```

書式は次のとおりです。

```
<キーワード> <設定値> /* パス名、数字など */  
<キーワード> <設定値> /* パス名、数字など */  
<キーワード> <設定値> /* パス名、数字など */  
.  
.
```

キーワードと設定値の間には「空白文字」または「タブ文字」を入力して区切ります。

「;」で始まる行と「/*」と「*/」で囲まれた範囲は、コメントとして解釈されません。

同一のキーワードが複数設定された場合は、ファイル中で最後に記述されている指定が有効になります。ただし、キーワード「`target`」は、ファイルの最後に記述されていても有効にはなりません。

表 3-3 に、`offlinerc` ファイルのキーワード一覧を示します。

表 3-3 `offlinerc` のキーワード一覧

キーワード	設定内容
-------	------

表 3-3 offlinerc のキーワード一覧 (続き)

target	<p>オフライン学習を行う環境のディレクトリを指定する。</p> <p>指定したディレクトリの下ディレクトリもすべて指定される。</p> <p>target は複数回指定することができる。</p> <p>省略不可</p> <hr/> <p>target<ディレクトリパス名 1></p> <p>target<ディレクトリパス名 2></p> <p>...</p>
jsrver_list	<p>jsrver が起動しているホスト名を指定する。</p> <p>ここで指定された jsrver に対して、ファイルのセーブ、ロックの要求を送る。</p> <p>ホスト名を省略すると、jsrver のロックは行われない。</p> <p>同時に複数個を指定する場合は、「,」で区切る。</p> <p>下記のキーワード wnnds_list での指定個数と合わせて 50 個のホストを指定できる。</p> <p>省略不可</p> <hr/> <p>jsrver_list<ホスト 1>, <ホスト 2>, <ホスト 3>, ...</p>
wnnds_list	<p>wnnds が起動しているホスト名を指定する。</p> <p>ここで指定された wnnds に対して、ファイルのセーブ、ロックの要求を送る。</p> <p>ホスト名を省略すると、wnnds のロックは行われない。</p> <p>同時に複数個を指定する場合は、「,」で区切る。</p> <p>上記のキーワード jsrver_list での指定個数と合わせて 50 個のホストを指定できる。</p> <p>省略不可</p> <hr/> <p>wnnds_list <ホスト 1>, <ホスト 2>, <ホスト 3>, ...</p>
udmerge_command	<p>オフライン学習から起動する登録語自動反映モジュールのコマンドライン (オプションを含む) を指定する。</p> <p>省略すると /usr/lib/locale/ja/wnn/wnnudmerge が使用される</p> <hr/> <p>udmerge_command<コマンドライン></p>

表 3-3 offlinerc のキーワード一覧 (続き)

delete_entry	<p>オフライン学習で、単語削除を行うかどうかを ON または OFF で指定する。</p> <p>省略すると、OFF に設定される</p> <p>delete_entry [ON/OFF]</p>
decrease_percent	<p>オフライン学習で、頻度を下げる場合の下げ率を % で指定する。0 ~ 100 の整数値で指定。省略すると、50 % に設定される</p> <p>decrease_percent <下げ率></p>
offline_dir	<p>オフライン学習の環境とその保存ディレクトリの対応関係を入力する Entries ファイルのディレクトリパス名を指定する。</p> <p>省略すると /usr/lib/locale/ja/wnn/wnnoffline が使用される</p> <p>offline_dir<ディレクトリパス名></p>
update_count	<p>1つの環境の使用回数がここで指定される数値を超えたとき、ファイルの保存や処理が行われる。</p> <p>0 ~ 4294967295 の整数値で指定する。</p> <p>省略すると、1000 に設定される</p> <p>update_count<回数></p>

注 - offlinerc ファイルの記述では、target、jserver_list、wnnds_list の3つのキーワードは省略できません。また、jserver_list、wnnds_list では引数であるホスト名を省略することができますが、target では引数にオフライン学習を行う環境のディレクトリを指定しなければなりません。

表 3-4 に、offlinerc のキーワード jserver_list と wnnds_list のホスト指定の記述形式を示します。

表 3-4 jserver_list と wnnds_list のホスト指定

記述形式	説明
host_name	<p>ホスト名 (または、IP アドレス) のみを指定。</p> <p>標準ポート番号が適用される</p>
host_name:offset_number	<p>標準ポート番号に offset_number を加算したポート番号を使用</p>
host_name/port_number	<p>ポート番号として port_number を使用</p>

次に、offlinerc ファイルの記述例を示します。

```

target                @LIBDIR/ja/dic/usr
jserver_list         hostA,hostA:3,133.210.2.10:1,hostB/22274
wnnds_list           hostC:3,hostB,133.210.2.46,hostB/22374
udmerge_command      /usr/lib/locale/ja/wnn/wnnudmerge

;delete_entry        on
delete_entry         off

decrease_percent     30
offline_dir          @LIBDIR/offline
update_count         2000

```

target または offline_dir のキーワードでのみ、@LIBDIR の記述を使用して /usr/lib/locale/ja/wnn のパスに置き換えることができます。

オフライン学習の動作中に発生するエラー内容については、[付録 C](#) を参照してください。

udmergerc の設定

登録語自動反映機能の動作を規定するテキストファイルです。

登録語自動反映モジュールを起動する前に、udmergerc ファイルの設定をすませておく必要があります。

ファイル:

```
/etc/lib/locale/ja/wnn/udmergerc
```

udmergerc は、次のような書式で作成します。

```

<キーワード>      <設定値 (パス名)>      <- udmergerc ファイルは
<キーワード>      <設定値 (ファイル名)>      必ずこの順序で記述します。
<キーワード>      <設定値 (数字)>
.
.

```

キーワードと設定値は「空白文字」または「タブ文字」で区切ります。

udmergerc ファイルで使用できるキーワードは、`udidir`、`mergedic`、`usernum` の 3 つです。一組の `udidir-mergedic-usernum` の設定で、1 ユーザーグループにおける辞書のマージ環境を指定することができます。

udmergerc ファイルで使用できるキーワードの解説を [表 3-5](#) に示します

表 3-5 udmergerc のキーワード一覧

キーワード	設定内容
uudir	マージ元辞書となるユーザー辞書を指定する。ユーザー辞書が存在するディレクトリパス名を入力する。複数のユーザー辞書を指定する場合は、「,」で区切る。すべてのユーザー辞書に対応する場合は、 /usr/lib/locale/ja/wnn/ja/dic/usr を指定する uudir <ユーザー辞書が存在するディレクトリパス名>
mergedic	マージ先辞書名を指定。ファイル名を指定する mergedic <マージ先辞書ファイル名>
usernum	指定した数以上のユーザーが同一の単語を登録している場合、その単語をマージする。allを指定すると、上記のuudirで指定された全ユーザー辞書で単語登録が行われた場合にマージが実行される usernum <ユーザー数> (/all)

注 - 登録語自動反映機能で処理できるユーザー辞書数は、1024 個までです。

次に例を示します。

注 - udmergerc ファイルでは @LIBDIR という記述はすべて /usr/lib/locale/ja/wnn/ に展開されます。

1. 複数グループのマージ辞書を作成する場合には、3 つのキーワードをまとめて複数個指定します。

```
uudir      @LIBDIR/ja/dic/usr/A,@LIBDIR/ja/dic/usr/B
mergedic   @LIBDIR/ja/udmerge/udmerge1.dic
usernum    2
uudir      @LIBDIR/ja/dic/usr/C,@LIBDIR/ja/dic/usr/D
           @LIBDIR/ja/dic/usr/E,@LIBDIR/ja/dic/usr/F
mergedic   @LIBDIR/ja/dic/udmerge/udmerge2.dic
usernum    4
```

2. 登録されているすべてのユーザーが同じ単語を登録した場合、辞書マージを行います。

```
uudir      @LIBDIR/ja/dic/usr
mergedic   @LIBDIR/ja/dic/udmerge/udmerge.dic
usernum    all
```

cron の設定

ここでは、wnnoffline を定期的に行わせるための設定方法を説明します。

注 - cron の設定は、wnnoffline の設定が完了してから行なってください。

1. スーパーユーザーになり、次のコマンドを入力します。

```
sun# crontab -e
```

2. エディタが起動したら、**wnnoffline** のエントリを追加します。

```
0 1 * * 0 /usr/lib/locale/ja/wnn/wnnoffline
```

例: 毎週日曜日の 1 時に wnnoffline が実行されるように設定する

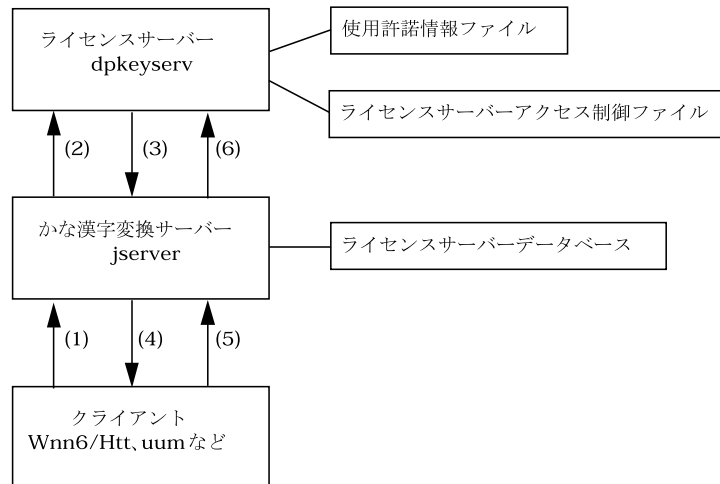
3. **crontab** コマンドから起動したエディタを終了します。

第 4 章

使用許諾 (ライセンス) の管理

Wnn6 のかな漢字変換サーバー (jserv) への接続は、ライセンスサーバー (dpkeyserv) によって制御されます。ライセンスサーバーは使用許諾情報を管理し、かな漢字変換サーバーからの要求に応じてライセンスを交付します。交付されたライセンスは、それを取得したかな漢字変換サーバーによって解放されるまで、再交付されません。

使用許諾の制御の流れ



(1)	かな漢字変換を行うプログラムが、かな漢字変換サーバーに接続を試みる
(2)	かな漢字変換サーバーは、ライセンスサーバーにライセンスを要求する。ライセンスサーバーデータベースが存在する場合は、そのファイルで指定されたライセンスサーバー (複数指定可) にライセンスを要求する。ライセンスサーバーデータベースが存在しない場合は、同一ホスト上のライセンスサーバーにライセンスを要求する
(3)	ライセンスサーバーは、ライセンスサーバーアクセス制御ファイルに記述されたホスト上のかな漢字変換サーバーからライセンスが要求された場合、使用許諾情報ファイルに設定された使用許諾情報を確認し、それを超えない範囲でライセンスを交付する。ライセンスサーバーアクセス制御ファイルに記述されていないホストのかな漢字変換サーバーからライセンスを要求された場合や、使用許諾情報ファイルに設定された使用許諾情報がすべて交付されている場合は、ライセンスを交付しない
(4)	ライセンスサーバーからライセンスを取得できた場合、かな漢字変換サーバーはクライアントと接続し、かな漢字変換が可能になる。ライセンスを取得できない場合は、クライアントにそれを通知する。このとき、かな漢字変換操作を行うことはできない
(5)	かな漢字変換を行うプログラムが、かな漢字変換サーバーとの接続を終了する。通常は、かな漢字変換を行うプログラムの終了時にこの処理を行う
(6)	かな漢字変換サーバーは、クライアントとの接続が終了したことを受け、保有していたライセンスをライセンスサーバーに返却する

ライセンスサーバーの起動

ライセンスサーバーは、システムの起動時に /etc/rc2.d/S94Wnn6によって起動されます。

- ライセンスサーバーを起動するには、スーパーユーザーになって次のコマンドを実行します。

```
sun# /usr/lib/locale/ja/wnn/dpkeyserv
```

ただし、1つのシステムで同時に実行できる dpkeyserv は1つだけです。

ライセンスの交付状況の表示と回収

dpkeystat コマンドを使用して、ライセンスの交付状況の表示し、交付されているライセンスを強制的に回収できます。

- ライセンスの交付状況を表示するには、スーパーユーザーになって次のコマンドを実行します。

```
sun# /usr/lib/locale/ja/wnn/dpkeystat
```

使用許諾情報の管理に関するファイル

- 使用許諾情報ファイル

```
/etc/lib/locale/ja/wnn/dpkeylist
```

ライセンスサーバーは、このファイルに設定された使用許諾情報を管理します。

- ライセンスサーバーアクセス制御ファイル

```
/etc/lib/locale/ja/wnn/dpkeyallow
```

ライセンスサーバーは、このファイルで指定されたホスト上のかな漢字変換サーバーからのライセンスの要求を受け付けます。ホスト名は、1行に1つずつ指定します。「#」で始まる行は、コメントとして無視されます。

- ライセンスサーバーデータベース

```
/etc/lib/locale/ja/wnn/dpkeyservlist
```

かな漢字変換サーバーは、このデータベースで指定されたライセンスサーバー (複数指定可) にライセンスを要求します。ライセンスサーバーデータベースが存在しない場合は、同一ホスト上のライセンスサーバーにライセンスを要求します。ホスト名は、1行に1つずつ指定します。

付録 A

Wnn6 設定ユーティリティ

この付録では、Wnn6 設定ユーティリティで Wnn6 の設定を行う方法について説明します。

Wnn6 設定ユーティリティには、システム管理者用の「システム管理用」メニューと、ユーザー用の「ユーザーカスタマイズ」メニューがあります。

Wnn6 設定ユーティリティの起動方法

- Wnn6 設定ユーティリティは、次のコマンドで起動します。

```
sun% /usr/openwin/bin/wnnenvutil
```

Wnn6 設定ユーティリティの各機能は、メニューから選択できます。

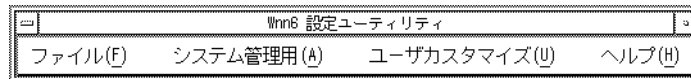


図 A-1 Wnn6 設定ユーティリティメニュー

システム管理用

「システム管理用」のメニューを利用する場合は、rootの権限で wnnenvutil を実行します。

「システム管理用」のメニューでは次の設定を行えます。

- かな漢字変換サーバー接続パラメタ
- かな漢字変換サーバー基本設定
- かな漢字変換サーバー / 辞書引きサーバーアクセス制御
- 標準かな漢字変換インタフェース (システムのデフォルト)
- かな漢字変換用辞書 (システムのデフォルト)
- キーの割り当て (システムのデフォルト)
- 学習 / 変換 / 表示モード (システムのデフォルト)

システム管理

かな漢字変換サーバー接続パラメタ

かな漢字変換サーバーの接続環境を設定します。

Wnn6 設定ユーティリティの「システム管理用」メニューから「かな漢字変換サーバー接続パラメタ」を選択します。

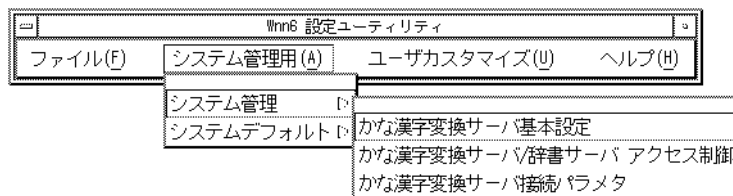


図 A-2 Wnn6 設定ユーティリティ「システム管理用」



図 A-3 「かな漢字変換サーバ接続パラメタ」ウィンドウ

表 A-1 「かな漢字変換サーバ接続パラメタ」ウィンドウの説明

(1)	設定されているパラメタ
(2)	選択したサーバの接続パラメタを変更する
(3)	サーバを追加する
(4)	選択したサーバを削除する
(5)	編集した内容でかな漢字変換サーバの接続パラメタを設定する
(6)	すべての設定をウィンドウが開いた時の状態に戻す
(7)	すべての設定を出荷時の設定に戻す
(8)	設定中の内容を取り消してウィンドウを閉じる
(9)	接続パラメタ設定操作のヘルプを表示する

「追加」ボタンまたは「変更」ボタンをクリックすると、サーバのパラメタを追加・変更するウィンドウが開きます。

言語:	ja
サーバ:	localhost
ソケットファイル:	/var/run/jd_sockV6
サービス:	wnn6
ポート番号:	22273

了解 リセット 取消し ヘルプ

[---]

図 A-4 接続パラメタ変更画面

言語、サーバ、ソケットファイル、サービス、ポート番号を入力して「了解」ボタンをクリックすると、サーバが追加、変更されます。

「リセット」ボタンをクリックすると、このウィンドウを開いたときの状態に戻ります。

かな漢字変換サーバ基本設定

かな漢字変換サーバの基本設定を行います。

Wnn6 設定ユーティリティの「システム管理用」メニューから「かな漢字変換サーバ基本設定」を選択します。

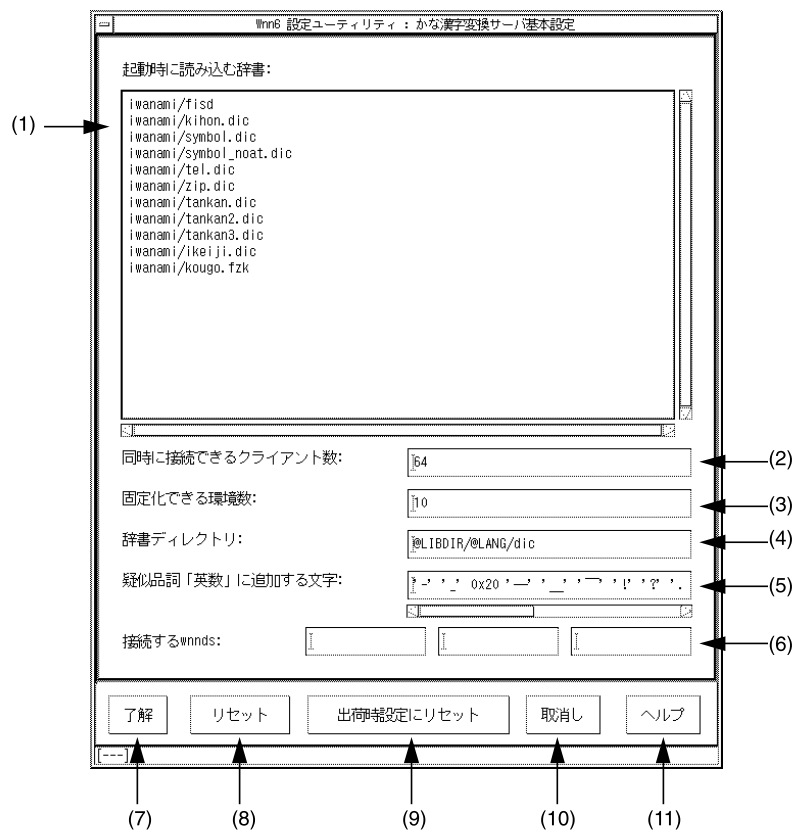


図 A-5 「かな漢字変換サーバ基本設定」ウィンドウ

表 A-2 「かな漢字変換サーバ基本設定」ウィンドウの説明

(1)	起動時に読み込む辞書を指定
(2)	同時に接続できるクライアント数。初期設定は 64
(3)	固定化できる環境数。初期設定は 10
(4)	辞書ディレクトリを指定
(5)	疑似品詞「英数」に追加する文字
(6)	接続する wnnds を指定する
(7)	編集した内容で、かな漢字変換サーバの設定を行う
(8)	すべての設定をウィンドウが開いた時の状態に戻す
(9)	すべての設定を出荷時の設定に戻す

表 A-2 「かな漢字変換サーバー基本設定」ウィンドウの説明 (続き)

(10)	設定中の内容を取り消してウィンドウを閉じる
(11)	操作のヘルプを表示する

かな漢字変換サーバー / 辞書引きサーバーアクセス制御

アクセス許可するホスト、ユーザーを設定します。

Wnn6 設定ユーティリティの「システム管理用」メニューから「かな漢字変換サーバ / 辞書引きサーバアクセス制御」を選択します。

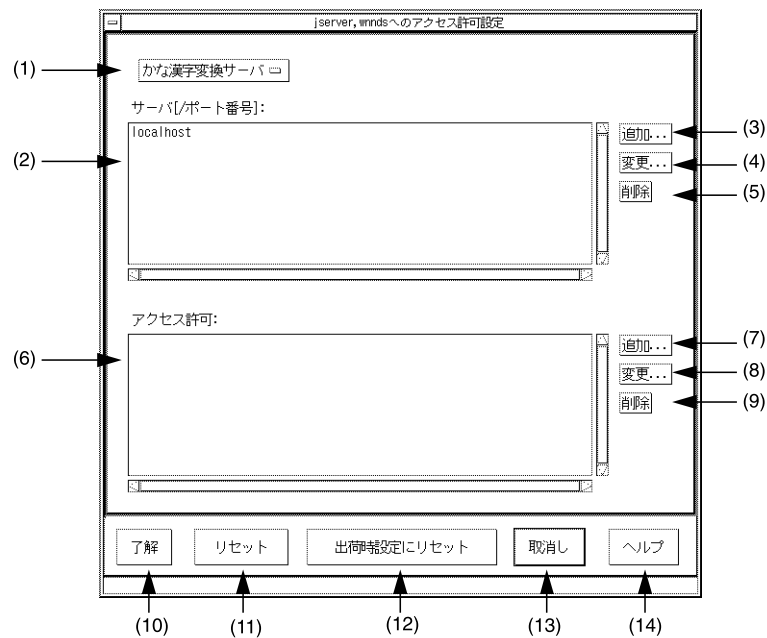


図 A-6 かな漢字変換サーバー / 辞書引きサーバーアクセス制御設定画面

表 A-3 かな漢字変換サーバー / 辞書引きサーバーアクセス制御設定画面の説明

(1)	(かな漢字変換サーバー / 辞書引きサーバー) を切り替える
(2)	アクセス可能なホストを一覧表示する
(3)	アクセス可能なサーバーを追加する
(4)	選択したサーバーのホスト名、ポート番号を変更する

表 A-3 かな漢字変換サーバー / 辞書引きサーバーアクセス制御設定画面の説明 (続き)

(5)	選択したサーバーを削除する
(6)	アクセス許可されているユーザーを一覧表示する
(7)	アクセス許可するユーザーを追加する
(8)	アクセス許可するユーザーを変更する
(9)	選択したユーザーをアクセスから外す
(10)	編集した内容でアクセス制御を設定する
(11)	すべての設定をウィンドウが開いた時の状態に戻す
(12)	すべての設定を出荷時の設定に戻す
(13)	設定中の内容を取り消してウィンドウを閉じる
(14)	操作のヘルプを表示する

(3)、(4) のボタンをクリックすると、サーバーを追加、変更するウィンドウが開きます。

図 A-7 サーバ追加

ホスト名とポート番号を入力して「了解」ボタンをクリックすると、アクセス可能なサーバーが追加、変更されます。

(2) でサーバーを選択して、(7)、(8) のボタンをクリックすると、アクセス許可を追加、変更するウィンドウが開きます。

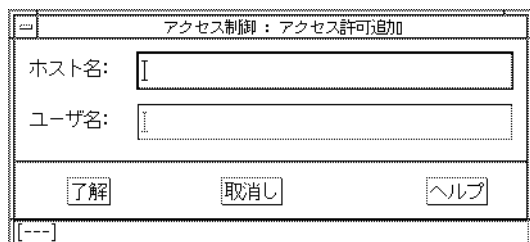


図 A-8 アクセス許可追加

ホスト名とユーザー名を入力して「了解」ボタンをクリックすると、そのホスト上では指定されたユーザー以外アクセスできなくなります。

ホスト名を入力せず、ユーザー名だけ入力して「了解」ボタンをクリックすると、そのユーザーはすべてのホストからのアクセスが可能になります。

システムデフォルト

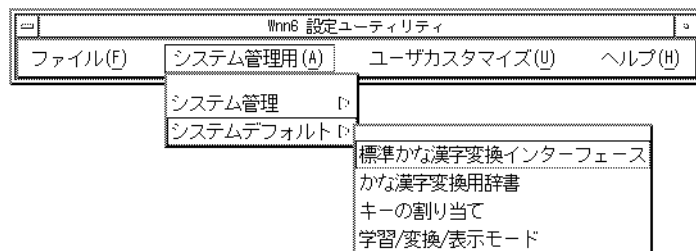


図 A-9 Wnn6 設定ユーティリティ「システムデフォルト」

標準かな漢字変換インターフェース

かな漢字変換の標準インターフェースを使用するときの環境を設定します。

Wnn6 設定ユーティリティの「システム管理用」メニューから、「標準かな漢字変換インターフェース」を選択します。

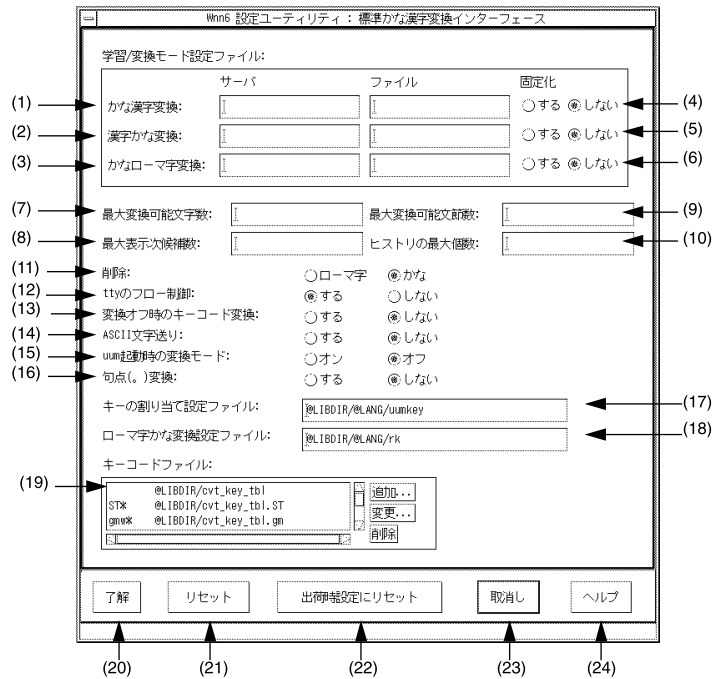


図 A-10 標準かな漢字変換インターフェース設定画面

表 A-4 標準かな漢字変換インターフェース設定画面の説明

(1)	サーバーのホスト名を指定すると、そのサーバーに接続される。ファイル名が省略されている場合は wnnenvrc が指定される
(2)	サーバーのホスト名を指定すると、そのサーバーに接続される。ファイル名が省略されている場合は漢字かな変換ができない
(3)	サーバーのホスト名を指定すると、そのサーバーに接続される。ファイル名が省略されている場合はかなローマ字変換ができない
(4)	「する」に設定すると、かな漢字変換サーバーに環境を固定化する
(5)	「する」に設定すると、かな漢字変換サーバーに環境を固定化する
(6)	「する」に設定すると、かな漢字変換サーバーに環境を固定化する
(7)	最大変換可能文字数を指定する。初期設定は 100
(8)	次候補一覧の時の最大表示候補数を指定する。初期設定は 36
(9)	最大変換可能文節数を指定する。初期設定は 80
(10)	履歴を最大何個まで記憶するかを指定する。初期設定は 11

表 A-4 標準かな漢字変換インタフェース設定画面の説明 (続き)

(11)	「ローマ字」にすると、確定した文字をローマ字に戻して削除する。「かな」にすると、確定した文字はそのまま削除される
(12)	「する」に設定すると tty のフロー制御を行う
(13)	「しない」に設定すると、変換オフの時キーコード変換を行わない
(14)	「しない」に設定すると、変換行が空の時バッファを取り込まない
(15)	「オフ」に設定すると、uum を変換モードオフで起動する
(16)	「しない」に設定すると、句点(.)変換を行わない
(17)	キーの割り当て設定ファイルを指定する
(18)	ローマ字かな変換設定ファイルを指定する
(19)	キーコードファイルを設定する
(20)	編集した内容で標準かな漢字変換インタフェースを設定する
(21)	すべての設定をこのウィンドウを開いた時の状態に戻す
(22)	すべての設定を出荷時の設定に戻す
(23)	設定中の内容を取り消してウィンドウを閉じる
(24)	操作のヘルプを表示する

かな漢字変換用辞書

Wnn6 設定ユーティリティの「システム管理用」メニューから「かな漢字変換用辞書」を選択します。

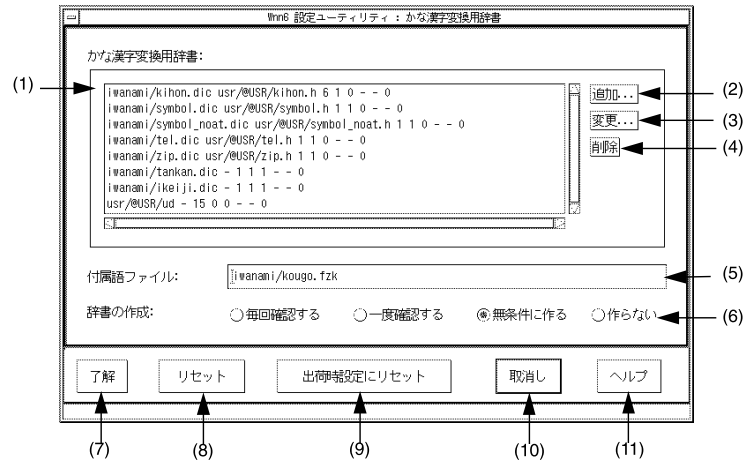


図 A-11 かな漢字変換用辞書 設定画面

表 A-5 かな漢字変換用辞書設定画面の説明

(1)	かな漢字変換用辞書を一覧表示する
(2)	かな漢字変換用辞書を追加する
(3)	選択したかな漢字変換用辞書を変更する
(4)	選択したかな漢字変換用辞書を削除する
(5)	付属語ファイルを指定する
(6)	辞書の作成条件を指定する。初期設定は「無条件に作る」
(7)	編集した内容でかな漢字変換用辞書を設定する
(8)	すべての設定をウィンドウが開いた時の状態に戻す
(9)	すべての設定を出荷時の設定に戻す
(10)	設定中の内容を取り消してウィンドウを閉じる
(11)	操作のヘルプを表示する

(2)、(3) のボタンをクリックすると、かな漢字変換用辞書ファイルを追加、変更するウィンドウが開きます。

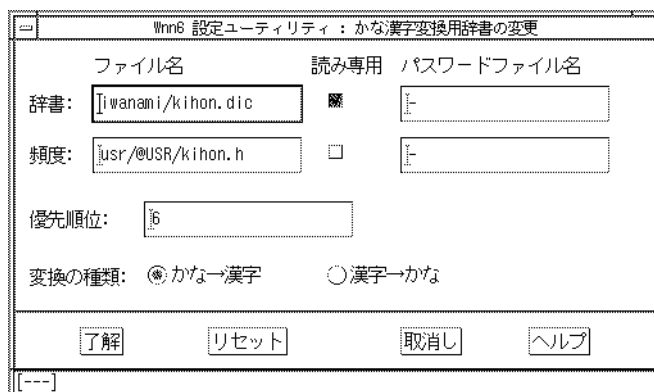


図 A-12 かな漢字変換用辞書編集ウィンドウ

辞書ファイル名、頻度ファイル名、パスワードファイル名、優先順位、変換の種類を指定し、「了解」ボタンをクリックすると、かな漢字変換用辞書が設定されます。

キーの割り当て

日本語入力時のキーを設定します。

キーコードの表記方法として、8進数、10進数、16進数を使用できます。表記方法は、プログラミング言語Cの表記方法に準じます。

Wnn6 設定ユーティリティの「システム管理用」メニューから「キーの割り当て」を選択します。

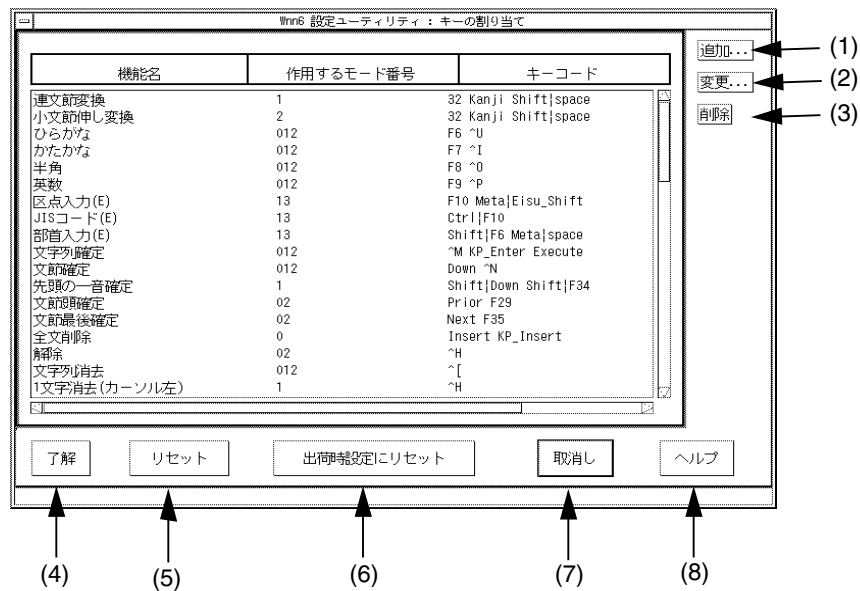


図 A-13 キーの割り当て設定画面

表 A-6 キーの割り当て設定画面の説明

(1)	キーコードを追加する
(2)	選択したキーコードを変更する
(3)	選択したキーコードを削除する
(4)	指定したキーコードでキーの割り当てを行う
(5)	ウィンドウが開いた時の状態に戻す
(6)	出荷時の設定に戻す
(7)	設定を行わずにウィンドウを閉じる
(8)	キーの割り当て設定操作のヘルプを表示する

モード番号の内容は表 A-7 を参照してください。

表 A-7 モード番号の内容

モード番号	内容
0	変換結果を修正している状態
1	文字を入力している状態

表 A-7 モード番号の内容 (続き)

モード番号	内容
2	変換後、文節の長さを伸ばしたり、縮めたりしている状態
3	バッファに何も文字が入っていない状態
4	カーソルを動かしながら、候補を選択している状態

学習 / 変換 / 表示モード

Wnn6 設定ユーティリティの「システム管理用」メニューから「学習 / 変換 / 表示モード」を選択します。



図 A-14 学習 / 変換 / 表示モード設定画面

表 A-8 学習 / 変換 / 表示モード設定画面の説明

(1)	「全設定項目」と「主要設定項目」を切り替える
(2)	指定したモードで Wnn6 の環境設定を行う
(3)	指定したモードを実行中の Wnn6 に反映するが、保存はしない
(4)	すべての設定をウィンドウが開いた時の状態に戻す。ただし、実行中の Wnn6 には影響しない
(5)	すべての設定を出荷時の設定に戻す。ただし、実行中の Wnn6 には影響しない

表 A-8 学習 / 変換 / 表示モード設定画面の説明 (続き)

(6)	設定中の内容を取り消してウィンドウを閉じる。ただし、実行中の Wnn6 には影響しない
(7)	操作のヘルプを表示する

カスタマイズできる内容を表 A-9 に示します。

表 A-9 学習 / 変換 / 表示モード 全設定項目

項目 (初期設定)	内容
無変換学習 (する)	「する」に設定すると、辞書に登録されていない「ひらがな」「カタカナ」「ローマ字」の候補が確定された場合に、自動的に辞書へ登録する
文節切り学習 (する)	「する」に設定すると、文節の切り直しを学習する
FI 関係学習 (する)	「する」に設定すると、FI 関係ユーザー辞書の学習を行う
送り基準学習 (する)	「する」に設定すると、送り基準を学習する
接頭語学習 (する)	「する」に設定すると、接頭語学習を行う
接尾語学習 (する)	「する」に設定すると、接尾語学習を行う
一般語学習 (する)	「する」に設定すると、一般語の学習を行う
頻度学習 (じわじわ学習)	頻度の学習方法を指定する
FI 頻度学習 (基準)	FI 頻度の学習方法を指定する
複合語変換 (しない)	「しない」に設定すると付属語を含まない候補を優先する
送り基準 (本則)	送りがなの基準規則を設定する
句読点 (。、)	句読点の変換を、“ ” “ ” “ ⇔ “ ” “ ” “ で設定する
括弧 (「」)	括弧の変換を、“ [“ ”] “ ⇔ “ [“ ”] “ で設定する
斜線 (・)	斜線の変換を、“ ・ ” ⇔ “ / ” で設定する
揺らぎ処理 (しない)	「しない」に設定すると、揺らぎ処理を行わない
連濁処理 (しない)	「しない」に設定すると連濁処理を行わない
最終使用最優先 (する)	「する」に設定すると、最終使用を最優先する

表 A-9 学習 / 変換 / 表示モード 全設定項目 (続き)

項目 (初期設定)	内容
初期設定: 接頭語 -お、ご/御 (ひらがな) 数字 (全角 - カンマ無) アルファベット (全角) シンボル (JIS)	接頭語、数字、アルファベット、シンボルの初期設定を指定する
単漢字を変換に使用 (しない)	「しない」に設定すると、単漢字を変換に使用しない
人名を変換に使用 (する)	「する」に設定すると、人名を変換に使用する
地名を変換に使用 (する)	「する」に設定すると、地名を変換に使用する
句点変換 (しない)	「しない」に設定すると、読みの入力中に句点 (。) を入力してもかな漢字変換が開始されない
次候補一覧の位置 (下)	次候補一覧のウィンドウの表示位置を設定する
次候補一覧の形式 (複数行)	候補一覧ウィンドウに候補を配置する形式を設定する

ユーザーカスタマイズ

「ユーザカスタマイズ」メニューでは次の設定が行えます。

- 学習 / 変換 / 表示モード
- 入力スタイル
- 標準かな漢字変換インタフェース
- かな漢字変換用辞書
- ローマ字かな変換テーブル

Wnn6 は「ユーザカスタマイズ」メニューで設定された内容で、起動時の環境設定を行います。ユーザーによる設定が行われていない場合は、「システム管理用」メニューの「システムデフォルト」の設定内容で環境設定を行います。

一般ユーザー向けカスタマイズ

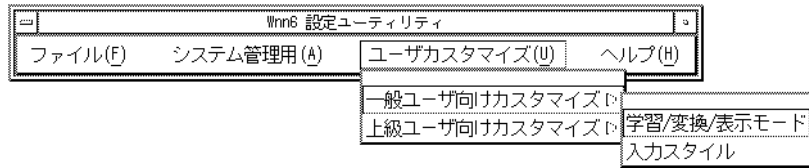


図 A-15 Wnn6 設定ユーティリティ 「一般ユーザー向けカスタマイズ」

学習 / 変換 / 表示モード

設定方法は「システム管理用」→「システムデフォルト」メニューの「学習 / 変換 / 表示モード」と同じです。62 ページの「学習 / 変換 / 表示モード」を参照してください。

入力スタイル

入力スタイルを設定します。

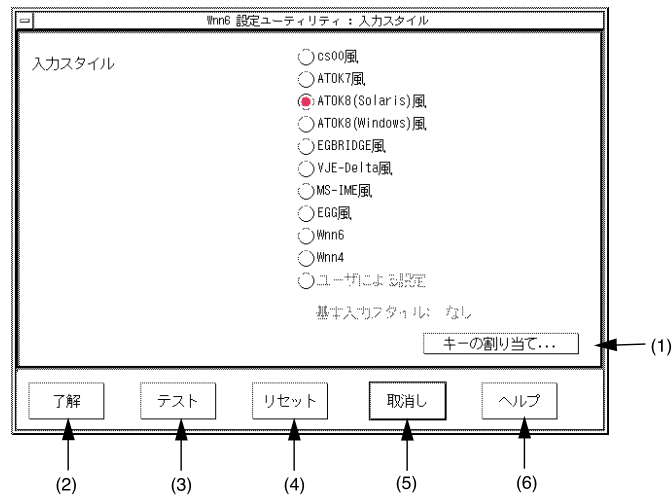


図 A-16 入力スタイル設定画面

表 A-10 学習 / 変換 / 表示モード設定画面の説明

(1)	選択した入力スタイルのキーバインド設定を行う
(2)	選択した入力スタイルを適用する

表 A-10 学習 / 変換 / 表示モード設定画面の説明 (続き)

(3)	入力スタイルを試す。保存はされない
(4)	すべての設定をウィンドウが開いた時の状態に戻す
(5)	設定中の内容を取り消してウィンドウを閉じる
(6)	操作のヘルプを表示する

「キーの割り当て」ボタンをクリックすると、選択されているスタイルのキーバインド機能を編集することができます。

詳しくは 60 ページの「キーの割り当て」を参照してください。

上級ユーザー向けカスタマイズ

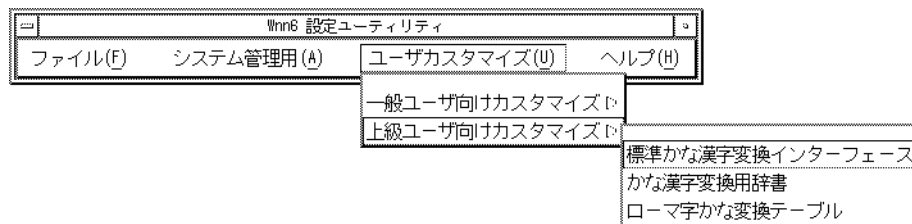


図 A-17 Wnn6 設定ユーティリティ 「上級ユーザー向けカスタマイズ」

標準かな漢字変換インターフェース

設定方法は「システム管理用」→「システムデフォルト」メニューの「標準かな漢字変換インターフェース」と同じです。56 ページの「標準かな漢字変換インターフェース」を参照してください。

かな漢字変換用辞書

設定方法は「システム管理用」→「システムデフォルト」メニューの「かな漢字変換用辞書」と同じです。58 ページの「かな漢字変換用辞書」を参照してください。

ローマ字かな変換テーブル

使用中の入力スタイルに対応するローマ字かな変換を編集します。

左側に入力文字 (アルファベット)、右側に出力文字 (ひらがな) が表示されています。

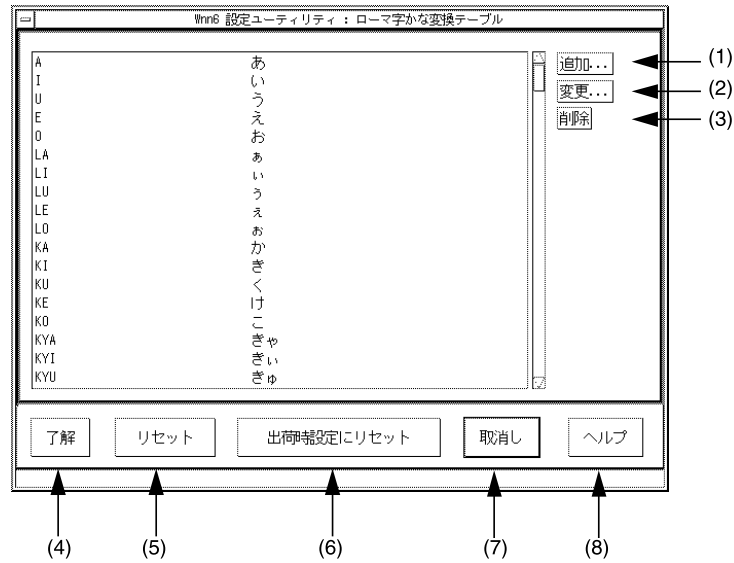


図 A-18 ローマ字かな変換テーブル設定画面

(1) ~ (8) については表 A-11 を参照してください。

表 A-11 ローマ字かな変換テーブル設定画面の説明

(1)	ローマ字かな変換を追加する
(2)	選択したローマ字かな変換を変更する
(3)	選択したローマ字かな変換を削除する
(4)	編集した内容でローマ字かな変換テーブルを設定する
(5)	すべての設定をウィンドウが開いた時の状態に戻す
(6)	すべての設定を出荷時の設定に戻す
(7)	設定中の内容を取り消してウィンドウを閉じる
(8)	操作のヘルプを表示する

「追加」、「変更」ボタンをクリックすると、入力文字と出力文字を設定するウィンドウが開きます。

図 A-19 ローマ字かな変換テーブル 編集ウィンドウ

入力文字は、半角英字、記号 3 文字以内です。出力文字はひらがな、カタカナ 3 文字以内です。

付録 B

補助漢字

この付録では、補助漢字を使用しないようにする設定方法について説明します。

部首入力で補助漢字を使わないようにする

- スーパーユーザーになり、次のコマンドを実行します。

```
sun# cd /var/locale/ja/wnn/ja/dic/bushu
sun# rm bushu.dic
sun# ln -s ../../../../../../usr/lib/locale/ja/wnn/ja/dic/bu\
shu/bushu.dic.no_JISX0212 bushu.dic
```

単漢字変換で補助漢字の候補を出さないようにする

Wnn6 設定ユーティリティで、「システム管理用」→「システムデフォルト」→「かな漢字変換用辞書」を選択します。

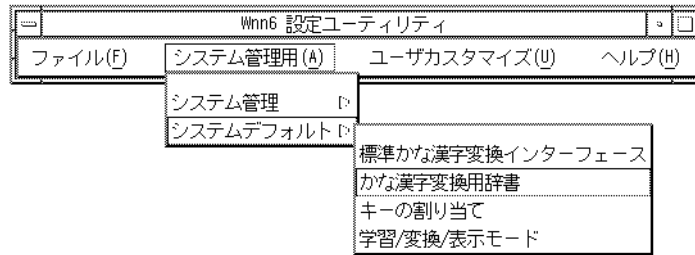


図 B-1 Wnn6 設定ユーティリティメニュー

「iwanami/tankan3.dic - 1 1 1 - - 0」を選択します。「削除」ボタンをクリックして一覧から削除し、「了解」ボタンをクリックします。

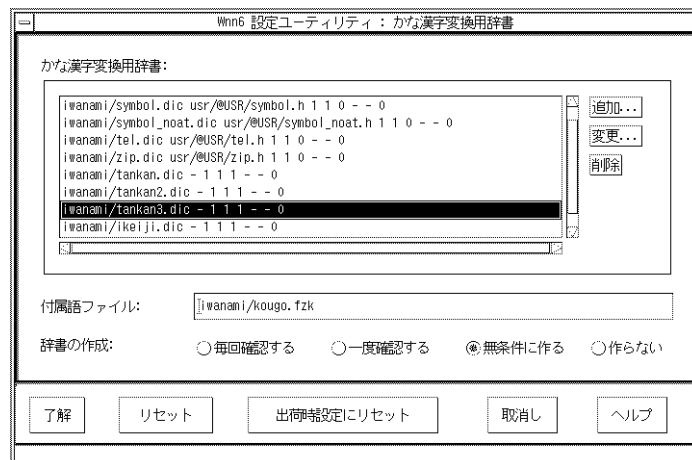


図 B-2 かな漢字変換用辞書設定画面

付録 C

エラーメッセージ一覧

この章では、Wnn6 のシステムから通知されるエラーメッセージについて説明します。

日本語入カインタフェース (Wnn6/Htt)

表 C-1 エラーメッセージ (日本語入カインタフェース)

エラーメッセージ	原因 / 対応
Can't connect server (at XXX) Can't connect server	jservice と接続できない jservice が起動していない場合は、jservice を起動する。その後、Wnn6/Htt を再起動するか、reconnect_jservice により再接続する。jservice が起動している場合は、ポートを確認する
Can't create FontSet	指定したフォントは現在使用しているマシンに存在しない リソース "xjsi*fontSet:" で、使用可能なフォント名を指定して、再起動する
Can't open file XXX	指定されたファイル XXX が存在しないか、ファイルへのアクセス権がない ファイル XXX の存在、アクセス権を確認する

表 C-1 エラーメッセージ (日本語入力インタフェース) (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
Can't run wnndictutil	Wnn6/Htt のメニューから単語登録を実行するためのモジュール wnndictutil を起動することができない /usr/openwin/bin/wnndictutil が存在するか確認する
Can't run wnnenvutil	Wnn6/Htt のメニューから環境設定とキーバインド変更を実行するためのモジュール wnnenvutil を起動することができない /usr/openwin/bin/wnnenvutil が存在するか確認する
I am already running.	Wnn6/Htt はすでに起動している 起動の必要はない
In Unmkey file "XXX" YYY Can't expand	YYY を展開できない キーバインド設定ファイル unmkey でキーまたはキーコードの記述に誤りがある。 cvt_xim_tbl ファイルを参照して、キーまたはキーコードを修正する
Unknown entry name	キーバインド設定ファイルで、不適当なキーバインドの機能名が指定された 「キーバインドの設定」を参照して、正しい機能名を指定する
Wrong key bindings in file XXX	指定されたキーバインド設定ファイル XXX において、機能名、キー、キーコードの記述に誤りがあるため、キーバインドが実行されない XXX での記述を修正する
XX: bad command line option	Wnn6/Htt 起動時のコマンドラインで、未定義のオプション XX が指定されている 指定可能なオプションの使用方法を確認する
候補が多過ぎて次候補が取り出せません	現在 Wnn6/Htt を使用している環境では、メモリーが不足している 不要なプログラムを終了して、空きメモリーを確保の上、再度変換を実行する
指定された辞書は、登録可能ではありません	固定形式の辞書のエントリ (単語) を削除しようとしている 固定形式の辞書のエントリ (単語) を削除することはできない

ユーティリティ共通

表 C-2 エラーメッセージ (ユーティリティ共通)

エラーメッセージ	原因 / 対応
Wnn のファイルではありません	指定されたファイルの形式が不適合
環境に辞書が存在しません	指定辞書ファイルを確認する
単語が長過ぎます	単語登録で「単語」に入力できる文字列は「読み」と「コメント」を合わせて最大 124 文字まで
クライアントの読み込んだファイルではありません	変換に使用している環境のファイル情報を確認する
候補が多過ぎて次候補が取り出せません	メモリー容量が不足している
このクライアントが読み込んだファイルではありません	他のクライアントが使用しているファイルを保存またはメモリ解放しようとした
これ以上ファイルを読み込むことができません	メモリー容量が不足している
辞書テーブルが一杯です	変換時に使用する辞書の数が多過ぎる 辞書数を減らす
辞書ではありません	辞書ファイル名の指定に誤りがある
辞書のエントリが多過ぎます	辞書内のエントリ (単語) が多過ぎて、作業用のメモリー領域を確保することができない
古いバージョンの付属語ファイルが設定されています	Wnn4 で作成された付属語ファイルを Wnn6 で使用している Wnn6 で使用する付属語ファイルは、必ず Wnn6 の環境下で作成されたものにする
指定された辞書は、逆引き可能ではありません	指定された辞書が逆引き対応になっていない wnnenvrc ファイルによる設定と辞書との対応を確認する
指定された辞書は、登録可能ではありません	指定された辞書は登録可能形式ではない 辞書ファイルを確認する
指定された単語が存在しません	単語検索などで、指定された単語が辞書に登録されていない
指定された単語が存在しません	入力された読みに対して、変換候補 (単語) が ない

表 C-2 エラーメッセージ (ユーティリティ共通) (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
その操作はサポートされていません	現在使用しているシステムのバージョンでは、指定された操作はサポートされていない
その番号の辞書は、使われていません	環境設定で登録されていない辞書名が指定された 辞書の設定を確認する
ディレクトリを作成することができません	作業ディレクトリに対して、書き込みのアクセス権がない
登録する読みが入力されていません	単語登録で「読み」が入力されていない
パスワードが間違っています	頻度情報へのアクセスで、パスワードに誤りがある パスワードを確認する
パスワードを記述しているファイルがオープンできません	頻度情報へのアクセスのために、指定されたソフトウェア許諾リストファイルが存在しないか、読み込みのアクセス権がない ファイルの存在、アクセス権を確認する
品詞番号が間違っています	指定された品詞の、品詞番号を確認する
品詞ファイルが大き過ぎます	品詞ファイルで不要と思われる設定を削減する
品詞ファイルが存在しません	品詞ファイル名およびパスを確認する
品詞ファイルが読み込まれていません	品詞ファイル名およびパスを確認する
品詞ファイルの内容が間違っています	品詞ファイルの形式を確認する
品詞名が間違っています	指定された品詞名を確認する
頻度ファイル XXX が、指定された辞書の頻度ファイルではありません	辞書と頻度ファイルの整合性がとれていない
頻度ファイルではありません	頻度ファイル名の指定に誤りがある
ファイルがオープンできません	指定されたファイルが存在しないか、ファイルへのアクセス権がない ファイルの存在、アクセス権を確認する
ファイルが削除できません	指定されたファイルを削除 (unlink) できない ファイルのアクセス権を確認する
ファイルが作成できません	作業ディレクトリに対して、書き込みのアクセス権がない

表 C-2 エラーメッセージ (ユーティリティ共通) (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
ファイルが存在しません	指定されたファイルが存在しないか、ファイルへのアクセス権がない ファイルの存在、アクセス権を確認する
ファイルが読み込まれています	現在 jserver に読み込まれている設定ファイルを削除しようとした
ファイルの I-node と FILE_UNIQ を一致させることができません	jserver がファイルに書き込めない wnntouch コマンドで FILE_UNIQ 情報を書き換える
ファイルを書き出すことができません	指定されたファイルに対して、書き込みのアクセス権がない
ファイルを読み込むことができません	指定されたファイルに対して、読み込みのアクセス権がない
付属語解析領域が不足しています	メモリー容量が不足している
付属語ファイルが読み込まれていません	設定ファイルで付属語ファイルの読み込みを指定する
付属語ファイルではありません	付属語ファイル名の指定に誤りがある
変換しようとする文字列が長過ぎます	変換時の読み入力で、入力できる文字列の長さは最大 512 文字まで
メモリーを確保できません	メモリー容量が不足している
読みが長過ぎます	単語登録で「読み」に入力できる文字列は単語とコメントを合わせて最大 124 文字まで
リードオンリーの辞書のエントリは登録 / 削除できません	登録可能でない (変更不可の設定時を含む) 辞書に対して、登録 / 削除を行なっている 登録 (変更) 可能な辞書を確認する
リードオンリーの頻度は変更できません	変更不可の頻度に対して、変更を行なっている 変更可能な頻度を確認する
jserver を再起動してください	jserver を起動する
jserver により接続を拒否されました	jserver と接続できない アクセス許可ファイルなどで、jserver のアクセス制御状況を確認する
切替えるべき jserver が存在しません	jserver の動作を確認する

表 C-2 エラーメッセージ (ユーティリティ共通) (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
クライアントの生成した環境ではありません	現在の環境は変換には不適當である 使用している環境を確認する
そのような拡張プロトコルはサポートされていません	使用しているシステムでサポートされていない拡張プロトコルが要求された ライブラリとサーバーのバージョンを確認する
そのようなプロトコルはサポートされていません	使用しているシステムでサポートされていないプロトコルが要求された ライブラリとサーバーのバージョンを確認する
そのようなホストはアクセスリストに存在しません	アクセス制御ファイルに指定のホストマシン名が記述されているか確認する
そのようなユーザーはアクセスリストに存在しません	アクセス制御ファイルに指定のユーザー名が記述されているか確認する
通信プロトコルのバージョンが合っていません	ライブラリとサーバーのバージョンを確認する
メモリーを確保できません	メモリー容量が不足している
include のレベルが多過ぎます	include できるのは最大で 10 回の深さ (レベル) まで
jservice のバージョンが古いと一時学習辞書の機能は使えません	Wnn6 の jservice を起動してから使用する
頻度ファイルが指定された辞書の頻度ファイルではありません	辞書と頻度の対応が不適合である
ファイル XXXX がオープンできません	ファイル XXXX が存在しないか、アクセス権がない
ファイル XXXX で環境設定中に、エラーが発生したために、設定を中止します	ファイル XXXX の形式を確認する
wnn6 を再起動してください	wnn6 を起動する
wnn6 との通信プロトコルのバージョンが合っていません	jservice と wnn6 のバージョンを確認する
wnn6 により接続を拒否されました	アクセス制御ファイルで、現在のアクセス制御状況を確認する
サーバーがロックされています	オフライン学習が起動しているため、jservice または wnn6 がロックされている オフライン学習が終了するまで待つ

表 C-2 エラーメッセージ (ユーティリティ共通) (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
FI 関係辞書ファイルではありません	FI 関係辞書ファイル名の指定が不適当
FI 関係システム辞書ではありません	FI 関係システム辞書ファイル名の指定が不適当
FI 関係頻度ファイルではありません	FI 関係頻度ファイル名の指定が不適当
FI 関係ユーザー辞書ではありません	FI 関係ユーザー辞書ファイル名の指定が不適当
ライセンスが取得できません	jservice と正常に接続できているか、または wnnstat コマンドなどで、jservice と接続しているユーザー数、クライアント数を確認する

Wnn6 辞書ユーティリティ (wnndictutil)

表 C-3 Wnn6 辞書ユーティリティ

エラーメッセージ	原因 / 対応
同じ辞書はマージできません	辞書併合で、併合元辞書と併合先辞書に同一辞書が指定されている
環境に辞書が存在しません	<code>/var/locale/ja/wnn/ja/dic/usr/</code> にユーザー辞書ファイルがない
検索する辞書が指定されていません	単語検索の実行時に、検索する辞書が指定されていない 検索する辞書を選択して、再度実行する
検索する読みが指定されていません	単語検索の実行時に、単語の読みが入力されていない 読みを入力して、再度実行する
コメントが長過ぎます	コメント編集で入力できる文字列の長さは、漢字、読み、コメントを合わせて最大 124 文字まで (半角文字も 1 文字に数える)
辞書をバックアップできません	ディスクの空き容量の不足またはアクセス権などの要因により、バックアップファイルを作成することができない

表 C-3 Wnn6 辞書ユーティリティ (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
辞書をリカバーできません。終了します	ディスクの空き容量の不足またはアクセス権などの要因により、辞書をリカバーできない
辞書をリストアできません	ディスクの空き容量の不足またはアクセス権などの要因により、辞書を復元できない
指定された単語が存在しません	単語検索の結果、該当する単語は指定された辞書に登録されていない
前回のリカバーファイルを削除できません	リカバーファイルへのアクセス権がないなどの原因が考えられる。アクセス権を確認する
前回のバックアップファイルを削除できません	辞書のバックアップで、前回同一辞書のバックアップを行なっている場合、今回のバックアップで、前回のバックアップファイルを削除するが、その削除にあたって、バックアップファイルに書き込みのアクセス権がない
テキストファイルが指定されていません	一括登録 / 一括削除の実行時に、テキストファイルが指定されていない テキストファイル名を入力して、再度実行する
テキストファイルが読めません	一括登録 / 一括削除で入力されたテキストファイルに、読み込みのアクセス権がない
登録する単語、読みが長過ぎます	単語登録で、漢字、読みの入力できる文字列の長さは、最大 124 文字まで (半角文字も 1 文字に数える)
登録する単語が入力されていません	単語登録の実行時に、単語が入力されていない 単語を入力して、再度実行する
登録する読みが入力されていません	単語登録の実行時に、読みが入力されていない 読みを入力して、再度実行する
バックアップされていないのでリストアできません	辞書の保存が実行されていないため、辞書の復元を実行することができない
頻度は数値で指定して下さい	頻度編集で、頻度に数値以外の文字が入力されている
他のクライアントが使用中の辞書はリストアできません	辞書を復元する時に、他のクライアントによる辞書の参照が行われている
メモリーを確保できません。終了します	辞書ユーティリティを実行するにあたって、メモリー容量が不足している

Wnn6 設定ユーティリティ (wnnenvutil)

表 C-4 Wnn6 設定ユーティリティ

エラーメッセージ	原因 / 対応
Key 変更の詳細画面がオープンされていません。書き込みはできません	キーバインドの変更をする時、詳細画面の方でもキーバインド変更の画面が開かれており、どちらかの変更が無効になる可能性がある 詳細画面を閉じてから書き込みを行う
書き込み許可がないためセーブできません	指定されたファイル名で保存できない ディレクトリに write フラグを立てる
現在のファイルの内容が失われます。よろしいですか？	現在編集中のファイルの内容が無効になる 保存する場合は、一度保存を実行してから次のメニューを選択する
このディレクトリはリードオンリーです	指定されたディレクトリに対して、読み込みのアクセス権しかないため、書き込みが行えない 書き込みを行う場合は、ディレクトリに write フラグを立てる
絶対パスが長過ぎます	ファイルを絶対パスで指定した時に、ディレクトリの深さで 128 バイトを超えている ディレクトリが深すぎる場合は使用できない
ただいまファイルを編集中です	同時に、同一ファイルへのアクセスが起こっている 現在編集中のファイルを閉じてから、再度アクセスする
入力した文字列が長過ぎます	入力された文字列が長過ぎる 入力可能な文字列は 128 バイト以下
パラメタの入力が不完全です	必要なパラメタに値が入力されていないためファイルを保存できない オンラインマニュアルを確認の上、パラメタに値を入力する

表 C-4 Wnn6 設定ユーティリティ (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
ファイルあるいはディレクトリにアクセスができません	指定されたファイル (ディレクトリ) が存在しないか、ファイル (ディレクトリ) に対して読み込みのアクセス権がない ファイル (ディレクトリ) の存在、アクセス権を確認する
ファイルがオープンできませんでした FI 設定はできません	かな漢字変換の初期化を設定したとき、なんらかの原因でファイルがオープンできず、FI 設定情報を取り出すことができなかった 一度デフォルトを読み込んで変更するか、Wnn6 設定ユーティリティで値を設定する
ファイル名が正しくありません	編集画面と読み込んだファイルの整合がとれていない 編集画面に適応したファイルを選択する
ファイル名が長過ぎます	オンラインマニュアルでそれぞれのファイル名の最大値を確認の上、それ以下の長さで入力する
ファイルロードエラー	指定されたファイルを読み込むことができない ファイルの存在、アクセス権を確認する
メモリーを確保できません	Wnn6 設定ユーティリティでは、必要に応じてメモリーを確保するようにしているが、この確保に失敗した メモリーを十分に解放して使用する
モードファイルをコピーできません	キーバインドの変更と同時に、モード表も変更されるが、このモード表の変更に失敗している 初期設定位置に対応するモードを確認する

Wnn6 辞書変換ユーティリティ (wnnotow)

表 C-5 Wnn6 辞書変換ユーティリティ

エラーメッセージ	原因 / 対応
出力ファイル XXXX が書き込めません	出力ファイル XXXX への書き込みのアクセス権がない
書式ファイル XXXX が読み込めません	書式ファイル XXXX への読み込みのアクセス権がないか、ファイル XXXX が存在しない
書式ファイル：単語区切りと単語無効に重複部分があります	書式データのキーワード「単語区切り」と「単語無効」に同じ文字が指定されている
書式ファイル：単語識別と単語区切りに重複部分があります	書式データのキーワード「単語識別」と「単語区切り」に同じ文字が指定されている
書式ファイル：単語識別と単語無効に重複部分があります	書式データのキーワード「単語識別」と「単語無効」に同じ文字が指定されている
書式ファイル：読み区切りと読み無効に重複部分があります	書式データのキーワード「読み区切り」と「読み無効」に同じ文字が指定されている
書式ファイルの XX 行：キーワードエラー	存在しないキーワード名などが記述されている
書式ファイルの XX 行：形式エラー	書式データがフォーマット通りに記述されていない 書式データや品詞対応の定義で、“=” など符号の抜けが考えられる
書式ファイルの XX 行：出力辞書品詞定義エラー	出力辞書品詞名称が定義されていません
書式ファイルの XX 行：出力辞書品詞名 YYY は Wnn の品詞ではありません	出力辞書品詞名称に Wnn6 の辞書の品詞に存在しない名称を指定している
書式ファイルの XX 行：定義値が不適切です	書式データのキーワード「読み」に 1、2 以外の数値指定などを行なっている
書式ファイルの XX 行：定義内容の長さエラー	書式データのキーワード「読み区切り」「読み無効」「単語識別」などに、1 バイトに満たない記述または 4 バイトを超える記述がある
書式ファイルの XX 行：入力辞書品詞「YYYY」は定義されています。この行は無視します	複数の同一入力辞書品詞名称への対応が存在する

表 C-5 Wnn6 辞書変換ユーティリティ (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
書式ファイルの XX 行：入力辞書品詞定義エラー	入力辞書品詞名称が定義されていない
デバイスに空きがないため、出力ファイルは作成できません	ディスクの空き容量が不足しているため、出力ファイルを生成することができない
デバイスに空きがないため、ログファイルは作成できません	ディスクの空き容量が不足しているため、ログファイルを生成することができない
入力ファイル XXXX が読み込めません	入力ファイル XXXX への読み込みのアクセス権がないか、ファイル XXXX が存在しない
頻度値エラー	“-h” オプションで頻度値に 0 以下の値が指定されている 正常な頻度値を指定する
ログファイル XXXX が書き込めません	ログファイル XXXX への書き込みのアクセス権がない

オフライン学習ユーティリティ (wnnoffline)

表 C-6 オフライン学習ユーティリティ

エラーメッセージ	原因 / 対応
jservice が起動できません	登録語自動反映モジュール起動時に、子プロセスで jservice を起動することができない
jservice 設定ファイル XX がオープンできません	登録語自動反映モジュールを起動時に、子プロセスで jservice を起動するが、その際 jservice.rc ファイルを読み込むことができない XX で示されたファイルの存在、アクセス権を確認する
main(): jservice がオープンできません js_open() err []	登録語自動反映モジュールから、子プロセスで起動した jservice をオープンすることができない

表 C-6 オフライン学習ユーティリティ (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
main(): jserver に接続できません js_connect() err []	登録語自動反映モジュールから、子プロセスで起動した jserver に接続することができない
-l オプションが 2 回以上指定されています	オフライン学習の起動時に、“-l” オプションが 2 回以上使用されている
-r オプションが 2 回以上指定されています	オフライン学習の起動時に、“-r” オプションが 2 回以上使用されている
処理できるユーザー辞書の総数は 1024 辞書までです [指定辞書数: XX]	登録語自動反映機能でマージ元となるユーザー辞書の最大数は 1024。udmergerc で指定されたユーザー辞書数 XX が 1024 を超えている
設定ファイルが指定されていません	“-r” オプションに続いて、offlinerc ファイルが指定されていない
登録語学習設定ファイル記述エラー: mergedic にマージ辞書名が指定されていません	udmergerc ファイルで、エントリ mergedic にマージ辞書名が指定されていない
登録語学習設定ファイル記述エラー: uddir, mergedic, usernum の順番が誤っています (XX 行)	udmergerc ファイルで、エントリの記述が uddir-mergedic-usernum の順に指定されていない udmergerc ファイルを修正する
登録語学習設定ファイル記述エラー: uddir, mergedic, usernum のどれかに記述もれがあります (XX 行)	udmergerc ファイルに記述もれがある udmergerc ファイルを修正する
登録語学習設定ファイル記述エラー: uddir にディレクトリが指定されていません	udmergerc ファイルで、エントリ uddir にユーザー辞書名が指定されていない
登録語学習設定ファイル記述エラー: usernum にユーザー数が指定されていません	udmergerc ファイルで、エントリ usernum にユーザー数が指定されていない
登録語学習設定ファイルに指定された XX の下位にはユーザー辞書はありません	udmergerc ファイルのエントリ uddir で指定されたユーザー辞書が存在しない
登録語学習の設定ファイル XX がオープンできません	登録語自動反映モジュール起動時の“-f” オプションで指定された udmergerc ファイルが存在しない
不明なオプション XX が指定されています	オフライン学習のコマンドラインで、未定義のオプション XX が使用されている
不要な引数 XX が指定されています	オフライン学習のコマンドラインで、不要な引数 XX が渡されている

表 C-6 オフライン学習ユーティリティ (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
ログファイル /var/locale/ja/wnn/log/udmerge_errlog が作成できません	登録語自動反映モジュールを起動した時に、エラーログファイル /var/locale/ja/wnn/log/udmerge_errlog を作成することができない ディスクの空き容量を確認する
ログファイル /var/locale/ja/wnn/log/merge.log が オープンできません	オフライン学習からの登録語自動反映モジュールの起動で、ログファイル /var/locale/ja/wnn/log/merge.log を書き込み用にオープンすることができない
ログファイルが指定されていません	"-l" オプションに続いて、ログファイル名が指定されていない

かな漢字変換サーバー (jserver)

表 C-7 かな漢字変換サーバー ログレベル: LOG_ERR

エラーメッセージ	原因 / 対応
(Cannot connect to "xxx")	wnnds ホスト xxx に接続するときに作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(head of b_index)	辞書のインデックス作成時の作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
No more client	クライアントを登録するときにエラーが発生した jserverrc の max_client と実際のクライアント数を確認する
(select socket)	通信用ソケットの select 処理でエラーが発生した ネットワークの設定、状態を確認する
(create socket)	UNIX domain の通信用ソケットの初期化でエラーが発生した ネットワークの設定、状態を確認する

表 C-7 かな漢字変換サーバー ログレベル: LOG_ERR (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
Cannot start jserver. (Check /var/run/jd_sockV6 file)	UNIX domain の通信用ソケットの初期化でエラーが発生した /var/run/jd_sockV6 ファイルおよびネットワークの設定、状態を確認する
(listen socket)	UNIX domain の通信用ソケットの初期化でエラーが発生した ネットワークの設定、状態を確認する
(create inet_socket)	inet domain の通信用ソケットの初期化でエラーが発生した ネットワークの設定、状態を確認する
jserver already running	指定されたポート番号ですでにサーバーが起動されている 起動時に、ポート番号を (-N、-pno) オプションで変更する
(listen inet_socket)	inet domain の通信用ソケットの初期化でエラーが発生した ネットワークの設定、状態を確認する
(create inet_socket)	inet domain の通信用ソケットの初期化でエラーが発生した ネットワークの設定、状態を確認する
(memory for FI dict area)	FI 辞書読み込み時の作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(memory for FI hindo area)	FI 頻度ファイル読み込み時の作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
Sorry, your fuzokugo bit data has too many id. Please change define VECT_L XX and compile again.	付属語の個数、ベクター長などが多過ぎる
Sorry, your kango bit data has too many id. Please change define KANGO_VECT_L XX and compile again.	幹語接続ベクター長 (XX) が多過ぎる
Sorry, your kango bit data has too many id. Please change define KANGO_MX XX and compile again.	幹語の品詞数 (XX) が最大値を越えている

表 C-7 かな漢字変換サーバー ログレベル: LOG_ERR (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
(memory for fzk_tbl)	付属語ファイル読み込み時の作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(memory for vect_area in fzk_tbl)	付属語ファイル読み込み時の作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(memory for kango hinsi_area in fzk_tbl)	付属語情報の読み込みで幹語の品詞について作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(memory for kango_vect_area in fzk_tbl)	付属語情報の読み込みで幹語のベクター長の作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(memory for tablefuzokugo in fzk_tbl)	付属語情報作成時の作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(memory for fzkwk) (memory for fzkwk1)	付属語作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(fzkwk if full) (fzkwk1 if full)	付属語作業用メモリー領域が不足している 使用可能なメモリー領域を拡大する
(memory for maxj) (memory for jmt) (memory for jmt_) (memory for jmtw_) (memory for bun) (memory for axj)	辞書の解析に必要な作業用メモリー領域を初期化または拡大することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(memory for m_dbn at daibnsetsu jikouho)	候補が多過ぎて次候補取出し (メモリー領域の確保) に失敗している
(memory for size xxx area)	サイズ xxx 分の作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する

表 C-7 かな漢字変換サーバー ログレベル: LOG_ERR (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
(memory for dictionary area) (memory for kanji area) (memory for UD dictionary area)	ユーザー辞書読み込み時の作業用メモリー領域が不足している 使用可能なメモリー領域を拡大する
(memory for REV dictionary area) (memory for b_node)	逆引き辞書読み込み時の作業用メモリー領域が不足している 使用可能なメモリー領域を拡大する
(memory for hindo file area)	頻度情報読み込み時の作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(memory for bufsize_serial in HJT)	頻度情報読み込み時の作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(memory for comment in HJT) (memory for hindo in HJT(1)) (memory for hindo in HJT(2))	頻度情報読み込みでコメント部分またはその他の作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(memory for JT(WNN_COMPACT_DICT))	コンパクト辞書読み込み時の作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(memory for JT)	辞書読み込み時の作業用メモリー領域(頻度、品詞、漢字などの情報に必要)を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
Cannot get host information from host(xxx)	ホスト xxx に関する情報で必要なデータを取得することができない。gethostbyname() に失敗している
(Specified file "XXXX" doesn't exist)	アクセス制御ファイル(XXXX)をオープンできない ファイルの存在、アクセス権を確認する
Too few arguments at line:YY in XXXX(1)~(2)	アクセス制御ファイル(XXXX)の(YY)行目の書式に誤りがある 書式を訂正する
Too many arguments at line:YY in XXXX	アクセス制御ファイル(XXXX)の(YY)行目の書式に誤りがある 書式を訂正する

表 C-7 かな漢字変換サーバー ログレベル: LOG_ERR (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
There is no start character YY in XXXX	アクセス制御ファイル (XXXX) 中で書式に誤り (YY) がある 書式を訂正する
There is no end character YY in XXXX	アクセス制御ファイル XXXX) 中で書式に誤り (YY) がある 書式を訂正する
Cannot malloc kaiseki area	解析中に変換可能文字数に対する作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
Cannot malloc work area	解析に必要な作業用メモリー領域 (サーバー起動時および変換エラー発生時に必要) を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(memory for socks)	ソケット選択時の作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(memory for cblk) (memory for client)	サーバー初期化時の作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(memory for files[])	ファイル初期化 (メイン関数における) のための作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(memory for dic_table)	辞書初期化 (メイン関数における) のための作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(memory for wnnds)	wnnds 接続時の作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(Cannot get my host name)	アクセス制御時に、ホスト情報を得ることができない。gethostname() に失敗している
Cannot access "xxxx"	アクセス制御ファイル xxxx (wnnhosts ファイル) 読み込み時の処理でエラーが発生している

表 C-7 かな漢字変換サーバー ログレベル: LOG_ERR (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
Cannot access localhost	アクセス制御ファイル wnnhosts 読み込み時の処理でエラーが発生している。(localhost 指定時)
Unknown host (xxx) in "xxxx"	アクセス制御ファイル wnnhosts に未知のホスト名 xxx が記述されている xxxx (wnnhosts ファイル) の内容を確認する
Cannot add localhost	localhost にアクセス許可を与えることができない localhost のネットワーク設定状態を確認する
cannot add host (xxx)	ホスト xxx にアクセス許可を与えることができない ネットワーク設定状態を確認する
Cannot open file "xxx"	ファイル xxx のオープンに失敗している
(memory for head of b_index)	辞書のインデックス作成時に作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(memory for comment in FI_JT)	FI 辞書読み込み時にコメント部分の作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(memory for comment in FI_HJT)	FI 頻度情報の読み込み時にコメント部分の作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
read_file:NO file "xxx"	ファイル xxx の読み込みに失敗している
receive_file:NO file "xxx"	ファイル xxx の書き込みに失敗している

かな漢字変換サーバー ログレベル: LOG_WARNING

表 C-8 かな漢字変換サーバー ログレベル:LOG_WARNING

エラーメッセージ	原因 / 対応
The number of KANGO vectors are more than KANGO hinsi	幹語のベクターの個数が幹語の品詞数より大きい
Sorry, your bunsetsu attribute has too many id. Please change define BUNATTR_KOSUU YY and compile again	文節属性の個数 (現在 YY 個) が多過ぎる
mkdir="xxx",xxx(result)	ディレクトリが作成できなかった。mkdir() に失敗している。(mkdir() の結果が xxx)
Cannot read FI dictionary	FI 関係辞書の読み込みでエラーが発生した
Cannot read FI index_table	FI 関係辞書のインデックスの読み込みでエラーが発生した
Cannot read comment in FI dictionary	FI 関係辞書 (コメント部分) の読み込みでエラーが発生した
Cannot read index in FI dictionary	FI 関係辞書 (インデックス部分) の読み込みでエラーが発生した
Cannot read comment in FI hindo file	FI 頻度ファイル (コメント部分) の読み込みでエラーが発生した
Cannot read index in FI hindo file	FI 頻度ファイル (インデックス部分) の読み込みでエラーが発生した
Cannot get ICHBNP area	付属語解析結果を保存するための領域が不足している
Fuzokugo-kaiseki area is full (fi-wnn)	付属語情報を格納するための領域が不足している
Realloc in Word_delete for serial XX	単語削除時に必要な領域が不足している。(シリアル番号: XX)
read compact dictionary:illegal same_yomi length XX at block YY	辞書のインデックス作成時にエラーが発生した。(block YY で異常な読みの長さ XX が検出されている)
Cannot open dictionary "xxx"	辞書ファイル xxx の読み込みに失敗した

表 C-8 かな漢字変換サーバー ログレベル: LOG_WARNING (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
Not a correct dictionary (XX)	読み込んだ辞書ファイルが異常。XXは1から14の数字で、異常が起こった場所を示している
receive_file:NO file xxx	ファイル xxx の書き込みに失敗している
Cannot open XXXX	ファイル XXXX の読み込みに失敗している

かな漢字変換サーバー ログレベル: LOG_NOTICE

表 C-9 かな漢字変換サーバー ログレベル: LOG_NOTICE

エラーメッセージ	原因 / 対応
Bad format in fzk_file	正しい付属語ファイルではない
Unexpected EOF in reading fzk_file	正しい付属語ファイルではない
No more client	クライアントを登録するときにエラーが発生した。jserverrc の max_client と実際のクライアント数について確認する
Not at the end of fzk_file	付属語ファイルが異常
Cannot create b_index	辞書のインデックス作成時にエラーが発生した
Cannot delete b_index	辞書のインデックス削除時にエラーが発生した
Cannot realloc b_node area	辞書のインデックス操作で作業用メモリ領域が不足している
Cannot free b_node[xxx]	辞書のインデックス操作でエラーが発生した。インデックス xxx が不正
(Cannot open message file libwnn.msg)	libwnn メッセージファイルをオープンすることができない
Unknown command XXX	不正な jlib 機能の呼び出し (コマンド XXX) があった
Erro xxx (yyy) : cur_clp = zzz	エラーが発生した場所 : xxx エラー番号 : yyy 現在のクライアントの番号 : zzz

表 C-9 かな漢字変換サーバー ログレベル:LOG_NOTICE (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
increase_kaiseki_area() error increase_kaiseki_area error(1) increase_kaiseki_area error(2)	辞書のエントリが多過ぎるために、解析時にエラーが発生している
resotre_kaiseki_area() error restore_kaiseki_area error(1) restore_kaiseki_area error(2)	辞書のエントリが多過ぎるために、解析時にエラーが発生している
Wnn_get_fukugou_component() error Wnn_get_fukugou_component() error(1) Wnn_get_fukugou_component() error(2)	複合品詞の解析でエラーが発生した
Wnn_get_fukugou_component_body() error	複合品詞の解析でエラーが発生した
error XX at YY of ZZ(ds_num)	エラー番号:XX エラー検出:YY wnnds:ZZ
No more jishobiki area	辞書引き検索時にエラーが発生した。辞書のエントリが多過ぎるか、作業用メモリーが不足している
Dis-order yomi for finding by serial, from xxx count yyy	シリアル番号から辞書インデックスを検索時にエラーが発生した シリアル番号:xxx インデックス数:yyy
illegal block pointer max 0xXX, actual 0xYY.	辞書引き時にエラーが検出された。ブロックの最大:0xXX(16進) 現在(エラーの検出)ブロック:0xYY(16進)
cd_find_block_by_yomi fails,block xxx	読みによる辞書引きに失敗した。エラー検出ブロック:xxx
Fail in get_hindo_area,serial xxx	頻度情報を取り出すためのメモリー領域を獲得できなかった。(シリアル番号:xxxで発生)
Fail in get_hindo_area gakyu,serial xxx	頻度学習情報を取り出すためのメモリー領域を獲得できなかった。(シリアル番号:xxxで発生)
Read compact dictionary:illegal same_yomi length xxx at block xxxx	コンパクト辞書読み込み時に、ブロック番号:xxxxにおいて異常な読みの長さxxxを検出した
Dic file size is bigger than that of hindo file	辞書ファイルと頻度ファイルの整合が取れていない

表 C-9 かな漢字変換サーバー ログレベル:LOG_NOTICE (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
Hindo file size is bigger than that of dic file	辞書ファイルと頻度ファイルの整合が取れていない
Unknown dicitonary state number xxx	辞書が異常。(異常値 xxx を検出)
Unexpected block off set, expected XX, actual YY	インスペクト機能でエラーが発生した。正常シリアル番号: XX 異常シリアル番号 (検出): YY
(yomi)large substr length XX, max YY, block ZZ, word index WW.	インスペクト機能でエラーが発生した。(最大値の設定を越える長さを検出) エラーとなる長さ (現在): XX 最大値: YY ブロック: ZZ インデックス番号: WW
Bad character 0xXX in yomi YY	読みの解析時に異常な文字を検出 読み: 0xXX (16 進) 読み番号: YY
(end-same-yomi)expected 0xXX, actual 0xYY.	インスペクト機能でエラーが発生した。正常値: 0xXX (16 進) 現在: (異常) 値: 0xYY (16 進)
Dbn_kai error	文節の解析時にエラーが発生した
Mknode error	文節の解析時にエラーが発生した
Cannot make Tanbunsetu kouho	文節の解析時に 1 つの候補も作れなかった
Fzk_kai error	付属語の解析時にエラーが発生した
Cannot make candidate	付属語の解析時に 1 つの候補も作れなかった
(memory_for_ds_word_search_struct) over YURAGI_MAX (=XX)	辞書引き時に作業領域が不足していた
Cannot expand jserver_dir xxxx	jserver が辞書管理を行うディレクトリパス (xxxx) の設定時にエラーが発生した
Already read XXXXXXXXX	XXXXXXXXX ファイルはすでに読み込まれている
Canot connect to wnndm	wnndm (辞書管理サーバー) に接続できなかった
(Cannot get fid of file XXXX)	XXXX の読み込みに失敗した XXXX ファイルが不正でないか確認する
Cannot read file (xxxx)	xxxx ファイルの読み込みに失敗した
Cannot connect to wnnds "XXXXXX"	wnnds ホスト XXXXXX に接続することができない

表 C-9 かな漢字変換サーバー ログレベル: LOG_NOTICE (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
Cannot read xxxx (received from wnnds)	wnnds ホストからファイル xxxx を読み込むことができなかった
Alrady read file xxx (recieved from wnnds)	ファイルの読み込みに失敗した。xxx ファイルはすでに他のサーバーから読み込まれている
Cannot read fzk_file xxxx from wnnds	wnnds から付属語ファイル xxxx を読み込むことができない
Cannot read FI_index_table	FI 辞書 (インデックス) の読み込みに失敗した
Unexpected EOF in reading fzk_file	正しい付属語ファイルではない

かな漢字変換サーバー ログレベル: LOG_INFO

表 C-10 かな漢字変換サーバー ログレベル: LOG_INFO

エラーメッセージ	原因 / 対応
New client:sd=xxx	新規クライアント xxx 追加
Delete = user@host	ユーザー名: user ホスト名: host のクライアント削除
eid=xxx, fid=yyy, hfid=zzz	辞書追加情報
Open = user@host	ユーザー名: user ホスト名: host のクライアント
Created new_env, xxx env_id=yyy	環境 (クライアント用) 追加情報
Free eid=xxx	環境との接続を断つときにその領域 (xxx) を解放する
mkdir="xxxx", xx (result)	ディレクトリ xxxx 作成。結果=xx
eid=xxx, rev=xxx	テンポラリ辞書追加情報
max_client=XX in "xxxx"	xxxx (jserverrc ファイル) で定義されたクライアントの最大数 (max_client): XX
max_sticky_env=XX in "xxxx"	xxxx (jserverrc ファイル) で定義された環境の最大数 (max_sticky_env): XX

表 C-10 かな漢字変換サーバー ログレベル: LOG_INFO (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
Illegal arguments of max_client in "xxxx"	xxxx (jsrvrrc ファイル) で定義されたクライアントの最大数 (max_client) が異常
Reading xxx Fid=xxx	読み込んでいるファイル名: xxx ファイル識別子 (fid): xxx
Hontai realloc occurred	ユーザー辞書の拡大 (realloc() 発生)
Knaji realloc occurred	ユーザー辞書の拡大 (realloc() 発生)
Serial realloc occurred	ユーザー辞書の拡大 (realloc() 発生)
Table realloc occurred	ユーザー辞書の拡大 (realloc() 発生)
ril realloc occurred	ユーザー辞書の拡大 (realloc() 発生)
Hindo area realloc occurred	頻度情報領域の拡大 (realloc() 発生)
X(xxx):cur_clp=xxx	JS ライブラリ使用時のコマンド情報
wnnds=host	wnnds ホスト名: host
Jserver version=xxxx	jserver バージョン: xxxx
Jlib version=xxxx	jlib バージョン: xxxx
Create hindo file xxx	頻度ファイル xxx 作成
Create dic file "xxx"	辞書ファイル xxx 作成
Reading file is xxx	xxxx ファイル読み込み

かな漢字変換サーバー ログレベル: LOG_DEBUG

表 C-11 かな漢字変換サーバー ログレベル: LOG_DEBUG

エラーメッセージ	原因 / 対応
yomi (USER@HOST) =xxxx kouho (USER@HOST) =XXX, YYY, ZZZ, WWW	ユーザー名: USER ホスト名: HOST 読み: xxxx 変換候補: XXX, YYY, ZZZ, WWW

かな漢字変換サーバー - 起動時

表 C-12 かな漢字変換サーバー - 起動時

エラーメッセージ	原因 / 対応
Can't open scriptfile XXXX.	サーバーのログファイル (XXXX) をオープンすることができない ファイルのパス名、アクセス権を確認する
Usage: jserver [-f initialize-file] [-s log_file("-" for stderr)] [-h hinsi_file] [-pno portNO] [-N portNo_offset] [-ds default_wnnds_list (host1/portno,host2/portno, host3/portno)] [+ds (No use default wnnds)] [-A access_control_file] [-L license_server_name] [-afunic] [-S log_level]	jserver 起動時のオプション指定に誤りがある 指定可能なオプションの使用方法を確認する

辞書引きサーバー (wnnds)

表 C-13 辞書引きサーバー ログレベル: LOG_ERR

エラーメッセージ	原因 / 対応
(memory for maxj) (memory for jmtpt) (memory for jmt_) (memory for jmtw_) (memory for area_pter)	辞書の解析に必要な作業用メモリー領域が不足している 使用可能なメモリー領域を拡大する
(select socket)	UNIX domain の通信用ソケットの初期化でエラーが発生した ネットワークの設定・状態を確認する
(create socket)	UNIX domain の通信用ソケットの初期化でエラーが発生した ネットワークの設定・状態を確認する

表 C-13 辞書引きサーバー ログレベル: LOG_ERR (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
(Wnnds already running)	指定されたポート番号ですすでにサーバーが起動している 起動時に、ポート番号を (-N、-pno) オプションで変更する
(listen socket)	UNIX domain の通信用ソケットの初期化でエラーが発生した ネットワークの設定・状態を確認する
(memory for files[])	ファイルの初期化で作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
Cannot malloc kaiseki area	解析に必要な作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
Cannot access "XXXXXX"	アクセス制御時に、ホスト XXXXXX (wnnhosts) の情報を得ることができなかった gethostname() に失敗している
(Cannot get my host name)	アクセス制御ファイル wnnhosts の読み込みに失敗した
Cannot access localhost	アクセス制御ファイル wnnhosts 読み込み時の処理でエラーが発生している。(localhost 指定時)
Unknown host (xxxx) in wnnhosts	アクセス制御ファイル wnnhosts に未知のホスト名 xxxx が記述されている wnnhosts の内容を確認する
Cannot add localhost	localhost にアクセス許可を与えることができない localhost のネットワークの設定状態を確認する
Cannot add host (xxxx)	ホスト xxxx にアクセス許可を与えることができない ネットワークの設定状態を確認する
(memory for cblk) (memory for client)	サーバー初期化時の作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する

表 C-13 辞書引きサーバー ログレベル: LOG_ERR (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
(memory for socket)	ソケット選択時の作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(memory for cli_info)	クライアント情報の作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する
(memory for socks) (memory for mutex) (memory for registration[]) (memory for registrataration_free_list)	サーバー初期化時の作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する

辞書引きサーバーログレベル: LOG_WARNING

表 C-14 辞書引きサーバー ログレベル: LOG_WARNING

エラーメッセージ	原因 / 対応
Realloc for serial XXX	単語削除 (シリアル番号 XXX) 時に作業用メモリー領域が不足していた 使用可能なメモリー領域を拡大する

辞書引きサーバー ログレベル: LOG_NOTICE

表 C-15 辞書引きサーバー ログレベル: LOG_NOTICE

エラーメッセージ	原因 / 対応
No more client	クライアント登録時にエラーが発生した

表 C-15 辞書引きサーバー ログレベル: LOG_NOTICE (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
Error XXX (YYY) : cur_clp=ZZZ	Wnn6 エラーメッセージ: XXX エラー番号: YYY クライアントの番号: ZZZ
Unexpected block off set, expected XX, actual YY	単語検索時にエラーが発生した。正常シリアル番号: XX 異常シリアル番号 (検出): YY
Illegal block pointer max 0xXX, actual 0xYY	単語検索時にエラーが発生した。正常シリアル番号: 0xXX (16 進) 異常シリアル番号 (検出): 0xYY (16 進)
cd_find_block_by_yomi fails, block XXX	読みから単語を検索するときにエラーが発生した。エラー検出ブロック: XXX
(yomi) large substr length XX, max YY, block ZZ, word index WW.	インスペクト機能でエラーが発生した。(最大値の設定を越える長さを検出) エラーとなる長さ (現在): XX 最大値: YY ブロック: ZZ インデックス番号: WW
Bad character 0xXX in yomi 0xYY	インスペクト機能でエラーが発生した。(異常な文字を検出) 文字: 0xXX (16 進) 読みのシリアル番号: 0xYY
(end-same-yomi) expected 0xXX, actual 0xYY.	インスペクト機能でエラーが発生した。正常値: 0xXX 現在 (異常) 値: 0xYY
increase_kaiseki_area error	辞書のエントリが多過ぎるために、解析時にエラーが発生している
resotre_kaiseki_area error	辞書のエントリが多過ぎるために、解析時にエラーが発生している
Unknown dictionary state number xxx	不正な辞書のステータス番号 xxx が検出されている
No more jishobiki area	辞書引時にエラーが発生している。作業メモリー領域が不足している
Unknown command XXX	不正な jlib 機能の呼び出し (コマンド XXX) があった
Dic file size is bigger than that of hindo file	辞書ファイルと頻度ファイルの整合がとれていない
Hindo file size is bigger than that of dic file	辞書ファイルと頻度ファイルの整合がとれていない
Error reading hinsi data file	品詞情報の読み込み時にエラーが発生した。(品詞ファイルの内容に誤りがある)

辞書引きサーバー ログレベル: LOG_INFO

表 C-16 辞書引きサーバー ログレベル: LOG_INFO

エラーメッセージ	原因 / 対応
Open=xxx/yyy (host/protno)	接続状況 ホスト名: xxx ポート番号: yyy
mkdir="xxx", xxx(result)	ディレクトリ xxx 作成。結果=xxx
Delete=xx/xxx (host/portno)	クライアント削除 ホスト名: xx ポート番号: xxx
New client:sd=xxx	新規クライアント xxx 追加
My version(major, minor)=xxx,xxx	wnnds バージョン major:xxx minor:xxx
Reading file is XXXXXX	読み込んでいるファイル名: XXXXXX
Reading hinsi data file	品詞ファイル読み込み
case (X) :error1(Y(command) :cur_clp=ZZ)	wnnds リクエストコマンド情報

辞書引きサーバー ログレベル: LOG_DEBUG

表 C-17 辞書引きサーバー ログレベル: LOG_DEBUG

エラーメッセージ	原因 / 対応
yomi (USER@HOST) =XXXXX	ユーザー名: USER ホスト名: HOST 読み: XXXXX
kouho (USER@HOST) =XXX,YYY,ZZZ,WWW	ユーザー名: USER ホスト名: HOST 変換候補: XXX,YYY,ZZZ,WWW
Client request version(major, minor)=XXX,YYY	クライアント要求バージョン major:XXX minor:YYY

表 C-17 辞書引きサーバー ログレベル: LOG_DEBUG (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
Usage:wnnds[-s log_file("-" for stderr)] [-pno portNO] [-NportNo_offset] [-A access_control_file] [-S log_level] [-lh logical_hostname] [-dh dic_header_hostname]	wnnds 起動時のオプション指定に誤りがある 現在、指定可能なオプションの使用方法を 確認する

ライセンスサーバー(dpkeyserv)

表 C-18 ライセンスサーバー ログレベル: LOG_ERR

エラーメッセージ	原因 / 対応
(create socket)	UNIX domain の通信用ソケットの初期化でエラーが発生した ネットワークの設定・状態を確認する
Dpkeyserv already running	指定されたポート番号ですでにサーバーが起動している
(memory for password)	パスワードの読み込み時に、作業用メモリー領域を初期化することができなかった 使用可能なメモリー領域を確保する
(memory for license)	ライセンス情報の取得時に、作業用メモリー領域を初期化することができなかった 使用可能なメモリー領域を確保する
(allow list)	アクセス制御ファイル dpkeyallow の読み込み時に、作業用メモリー領域を初期化することができなかった 使用可能なメモリー領域を確保する
Cannot get server hostid	サーバーのホスト ID の取得に失敗した
Wnn6: Key License Server not started ...	使用許諾情報ファイル dpkeylist に異常がある。dpkeyserv を起動することができない
License number overflow	ライセンス番号がオーバーフローを起こしている

表 C-18 ライセンスサーバー ログレベル: LOG_ERR (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
(memory for client)	クライアントの登録時に、作業用メモリー領域を初期化することができない 使用可能なメモリー領域を確保する

ライセンスサーバーログレベル: LOG_WARNING

該当するメッセージはありません。

ライセンスサーバーログレベル: LOG_NOTICE

表 C-19 ライセンスサーバー ログレベル: LOG_NOTICE

エラーメッセージ	原因 / 対応
(Sendto error)	メッセージ送信時 (ソケット) にエラーが発生した
(dpkeyallow)	アクセス制御ファイル dpkeyallow の読み込み (オープン) に失敗した dpkeyallow ファイルを確認する
(Receive error)	メッセージ (パケット) の受信に失敗した
Receive bad packet (length is xx)	受け取ったパケットの大きさ xx が異常
Receive bad address (length is xx)	アドレスが不正。アドレス長: xx
Receive bad checksum (value is XX)	チェックサムの結果が異常。返値: XX
Receive bad request (code is xx)	パケットの要求が不正。コード値: xx
unknown host (xxx) in dpkeyallow	アクセス制御ファイル dpkeyallow に未知のホスト xxx が登録されている

表 C-19 ライセンスサーバー ログレベル: LOG_NOTICE (続き)

エラーメッセージ	原因 / 対応
XXX.YYY.ZZZ.WWW is not allowed	アクセス制御ファイル dpkeyallow にホスト XXX.YYY.ZZZ.WWW は登録されていない。 アクセスは許可されていない
Not found dpkeylist file	使用許諾情報ファイル dpkeylist が所定のディレクトリに存在しない
(cannot open password file XXXX)	使用許諾情報ファイル (ファイル名: XXXX) をオープンすることができない
Missing: on file XXXX at line YY	ファイル XXXX の YY 行目の記述に誤りがある
Too many fields on file XXXX at line YY	ファイル XXXX の YY 行目の記述に誤りがある
Wrong password string on file XXXX at line YY	ファイル XXXX の YY 行目のパスワードの記述に誤りがある
Application name doesn't match with password on file XXXX at line YY	ファイル XXXX の YY 行目のアプリケーション名の記述に誤りがある
License number doesn't match with password file XXXX at line YY	ファイル XXXX の YY 行目のライセンス数の記述に誤りがある
Bad time request	サーバーホストの時間とクライアントホストの時間にずれがある。(1 日以上)のずれ)
(Cannot open logfile XXXX)	ログファイル XXXX をオープンすることができない
(Cannot open allow file XXXX)	アクセス制御ファイル XXXX をオープンすることができない
Invalid Host ID, file XXXX at line YY ignored	使用許諾情報ファイル XXXX の YY 行目に不正なホスト ID が使用されている
No license entry on license list.	使用許諾情報ファイルにエントリがない
Invalid passwd ignored	使用許諾情報ファイルで、期限の設定が不正なエントリがある。該当エントリを無視する
Application name, not existence.	使用許諾情報ファイルの読み込み処理で、不正なアプリケーション名を登録しようとした

ライセンスサーバーログレベル: LOG_INFO

表 C-20 ライセンスサーバー ログレベル: LOG_INFO

エラーメッセージ	原因 / 対応
START : ctime	dpkeyserv 始動時間 : ctime
EXIT : ctime	dpkeyserv 終了時間 : ctime
reading XXXX	ファイル XXXX の読み込み
Get License: XXXX license_no=YYYY application name=ZZZZ timeout=VVVV	dpkeyserv の未使用タイマー機能設定時のログ ライセンス : XXXX ライセンス番号 : YYYY アプリケーション名 : ZZZZ タイマー : VVVV
Timeout Delete License: application=XXXX lisence_no=YYYY	dpkeyserv の未使用タイマー機能設定時のログ (タイマーによりライセンスの開放実行) ア プリケーション名 : XXXX ライセンス番号 : YYYY
Opened password file XXXX	使用許諾情報ファイル XXXX に異常があった
RCV : AAA BBB CCC DDD EEE FIW6 GGG	パケットの受信状況を示す。 リクエスト : AAA エラーコード : BBB シーケ ンシャル番号 : CCC DDD EEE FI ライセンス 数 : DDD アドレス : EEE(=xxx.xxx.xxx.xxx) ア プリケーション名 : FIW (Wnn6 用) ユーザー名 : GGG
SND : AAA BBB CCC DDD EEE FIW6 GGG	パケットの送信状況を示す。 リクエスト : AAA エラーコード : BBB シーケ ンシャル番号 : CCC ライセンス数 : DDD アド レス : EEE(=xxx.xxx.xxx.xxx) アプリケー ション名 : FIW (Wnn6 用) ユーザー名 : GGG
FIW6:License total XX, used YY	Wnn6 のライセンス数 : XX 現在のライセンス 使用数 : YY
FIW6:License is full (license total XX)	Wnn6 のライセンス数 : XX で、ライセンス使 用状況が XX 個に達している
Version=XX	dpkeyserv バージョン : XX

ライセンスサーバーログレベル: LOG_DEBUG

表 C-21 ライセンスサーバー ログレベル: LOG_DEBUG

エラーメッセージ	原因 / 対応
host XXXX (XXX.XXX.XXX.XXX) -> (YY=YYY.YYY.YYY.YYY) allowed	dpkeyserv ホスト: XXXX (アドレス: XXX.XXX.XXX.XXX) からアクセスリスト: YY (アドレス: YYY.YYY.YYY.YYY) へのアク セスが許可された
reading dpkeyallow done	アクセス許可ファイル dpkeyallow が読み込 まれた。(処理終了)
host localhost (XXX.XXX.XXX.XXX) allowed	localhost (アドレス: XXX.XXX.XXX.XXX) へ のアクセスが許可された
allow_list (XX=XXX.XXX.XXX.XXX) client_addr (YY=YYY.YYY.YYY.YYY)	アクセス許可リスト: XX (アドレス: XXX.XXX.XXX.XXX) クライアント: YY (アドレス: YYY.YYY.YYY.YYY)

索引

B

bunsetsu, 13, 15
bushu.dic, 13
bushu.dic.JISX0212, 13
bushu.dic.no_JISX0212, 14
bushu.fzk, 13, 14

C

cron, 39
crontab, 44

D

decrease_percent, 41
delete_entry, 41
dpkeyallow, 47
dpkeylist, 47
dpkeyserv, 46
dpkeyservlist, 47-48
dpkeystat, 47

E

Entries, 37-38

F

fisd, 13, 14

fisd.h, 13, 16

fiud, 13, 15

FI 関係システム辞書ファイル, 14

FI 関係ユーザー辞書ファイル, 15

FI 関係ユーザー頻度情報ファイル, 16

H

hinsi.data, 18-19

I

ikeiji.dic, 13, 14

J

jserver, 20, 25

エラーメッセージ, 86

jserver_list, 40

jserverrc, 26

K

kihon.dic, 13, 14

kihon.h, 13, 16

kougo.fzk, 13, 15, 20

M

mergedic, 42, 43
muhenkan, 13, 15

O

offline_dir, 41
offlinerc, 39, 41
 キーワード, 39
 設定, 39-44

S

S94Wnn6, 25
symbol.dic, 13, 14
symbol.h, 13, 16
symbol_noat.dic, 13, 14
symbol_noat.h, 13, 16

T

tankan.dic, 13, 14
tankan2.dic, 13, 14
tankan3.dic, 13, 14, 72
target, 40
tel.dic, 13, 14
tel.h, 13, 16

U

ud, 13, 15
uudir, 42, 43
udmerge_command, 40
udmergerc, 39, 42
 udmergerc の設定, 42-43
 キーワード, 43
update_count, 41
usernum, 42, 43

W

Wnn6/Htt, エラーメッセージ, 73
Wnn6 辞書ファイル構成, 12-13

Wnn6 辞書変換ユーティリティ, エラーメッセージ, 83

Wnn6 辞書ユーティリティ, エラーメッセージ, 79

Wnn6 設定ユーティリティ, 49-69

 エラーメッセージ, 81

 学習 / 変換 / 表示モード, 62-65

 キーの割り当て, 60-62

 起動方法, 49

 システム管理用, 49

 システムデフォルト, 56-65

 標準かな漢字変換インタフェース, 56-58

 メニュー, 49

 ユーザーカスタマイズ, 49, 65-69

Wnn6 の辞書, 11

wnnaccess, 28

wnnatod, 22

wnndictutil

 エラーメッセージ, 79, 84

wnnds, 26

wnnds_list, 40

wnndtoa, 23

wnnenvrc, 22

wnnenvutil, 49

 エラーメッセージ, 81

wnnooffline, 44

wnnotow, エラーメッセージ, 83

wnntouch, 23

Z

zip.dic, 13, 14

zip.h, 13, 16

あ

アクセスコントロール

 情報取得, 28

 設定, 28

 表示する, 28

アクセス制御, 27-29

い

一般ユーザー向けカスタマイズ, 65-67

インタフェース, 56-58

え

エラーメッセージ

- jsrver, 86-92
 - Wnn6/Htt, 73-75
 - Wnn6 辞書変換ユーティリティ, 83-84
 - Wnn6 辞書ユーティリティ, 79-81
 - Wnn6 設定ユーティリティ, 81-83
 - wndictutil, 79-81, 84-86
 - wnnenvutil, 81-83
 - wnnotow, 83-84
 - オフライン学習ユーティリティ, 84-86
 - かな漢字変換サーバー, 86-92, 96-97, 97, 98
 - かな漢字変換サーバーログレベル, 92-93, 93-96
 - 辞書引きサーバー, 100
 - 辞書引き変換サーバー, 98-100, 100-101, 102
 - 日本語入力インタフェース, 73-75
 - ユーティリティ共通, 75-79
 - ライセンスサーバー, 103-104
 - ライセンスサーバーログレベル, 104, 106-107, 107
- エラーメッセージ一覧, 73-107

お

- オフライン学習, 33-44
- cron の設定, 44
 - offlinerc の設定, 39-42
 - udmergerc のキーワード, 43
 - 概要, 33
 - 管理, 33-44
 - 機能と動作, 33-38
 - 設定, 39-44
- オフライン学習ユーティリティ, エラーメッセージ, 84

か

- 学習 / 変換 / 表示モード, 62-65, 65
- 学習処理, 36-37
- かな漢字変換サーバー, 25-32, 45
- jsrver, 27, 28, 45

かな漢字変換サーバー (続き)

- エラーメッセージ, 96, 97, 98
 - 基本設定, 29-30
 - ロック, 33-34
- かな漢字変換サーバー / 辞書サーバーアクセス制御, 54-56
- かな漢字変換サーバー基本設定, 52-54
- かな漢字変換サーバー接続パラメタ, 50-52
- かな漢字変換サーバーの基本設定, jsrverrc, 29-30
- かな漢字変換サーバーログレベル
- エラーメッセージ, 86, 92, 93
- かな漢字変換用辞書, 58-60
- Wnn6 設定ユーティリティ, 58-60

き

キーの割り当て, 60-62

こ

固有名詞, 16

し

辞書

- かな漢字変換辞書, 11-23
 - 構成, 11-16
 - 辞書ユーティリティ, 22-23
 - システム辞書, 11
 - バイナリデータ形式辞書, 21, 23
 - ヘッダー書き換え, 23
 - ユーザー辞書, 11
 - ユーザー頻度情報ファイル, 20
- 辞書引きサーバー, 26, 28
- wnnds, 27, 28
 - エラーメッセージ, 98
 - ロック, 33
- 辞書引きサーバーログレベル
- エラーメッセージ, 100, 102
- 辞書引き処理, 26
- システム管理, 50-56
- システム管理用メニュー, 50
- Wnn6 設定ユーティリティ, 50
 - インタフェース, 50

システム管理用メニュー (続き)
 学習 / 変換 / 表示モード, 50
 かな漢字変換サーバー / 辞書サーバーアクセス制御, 50
 かな漢字変換サーバー基本設定, 50
 かな漢字変換用辞書, 50
 キーの割り当て, 50
 接続パラメタ, 50
 システム辞書
 テキスト形式, 11
 バイナリデータ形式, 11
 システム辞書ファイル, 14
 システムデフォルト, 56-65
 上級ユーザー向けカスタマイズ, 67-69
 使用許諾
 管理, 45-48
 制御の流れ, 45-46
 使用許諾情報, 45
 管理に関するファイル, 47-48
 使用頻度情報, 頻度ファイル, 11
 自立語, 11

す
 数助数詞, 17

た
 単漢字変換, 補助漢字の候補を出さない, 71-72
 単語削除, 37

て
 テキスト形式辞書, 21-22, 22
 書式, 21

と
 動詞, 17
 動詞以外の用言, 17
 登録語自動反映, 34-36
 登録語自動反映機能, 42
 特殊助数詞, 17
 特殊数詞, 17

特殊接頭数詞, 17
 特殊単独語, 17
 特殊な動詞, 17

に
 日本語入力インタフェース, エラーメッセージ, 73
 入力スタイル, 66-67

は
 バイナリデータ形式辞書, 21, 22

ひ
 品詞, 16-19
 品詞管理ファイル, 18-19
 品詞の種類, 16-18
 数助数詞, 17
 疑似品詞, 17
 固有名詞, 16
 接頭語, 17
 接尾語, 17
 単漢字, 17
 動詞, 17
 動詞以外の用言, 17
 特殊助数詞, 17
 特殊数詞, 17
 特殊接頭数詞, 17
 特殊単独語, 17
 特殊な動詞, 17
 普通名詞, 16
 頻度下げ, 36-37
 頻度情報ファイル, 19-20
 FI 関係ユーザー頻度情報ファイル, 20
 ユーザー頻度情報ファイル, 20

ふ
 部首入力, 補助漢字を使わない, 71
 部首入力用辞書ファイル, 13
 補助漢字を使わない, 13
 部首入力用付属語情報ファイル, 14

付属語, 11
付属語情報ファイル, 14, 20
普通名詞, 16
文節学習辞書ファイル, 15

ほ

補助漢字, 71-72
保存ディレクトリの対応ファイル作成, 37-38

む

無変換学習辞書ファイル, 15

ゆ

ユーザーカスタマイズ, 65-69
 一般ユーザー向け, 65-67
 上級ユーザー向け, 67-69
ユーザー辞書, 11
 テキスト形式, 11
 バイナリデータ形式, 11
ユーザー辞書ファイル, 15
ユーザー頻度情報ファイル, 15
ユーティリティ共通, エラーメッセージ, 75

ら

ライセンス
 回収, 47
 交付状況の表示, 47
ライセンスサーバー, 45
 dpkeyserv, 45
 アクセス制御ファイル, 47
 エラーメッセージ, 103, 104, 106, 107
 起動, 46
 データベース, 47

ろ

ローマ字かな変換テーブル, 67-69

